

2023年度 がん登録塾  
部位別セミナー

第3回

3コマ

部位別セミナー

# 膵臓のがん



JA長野厚生連 佐久総合病院  
総合医療情報センター

西本 寛



# 脾の解剖・生理

---

# 肝胆膵(胆道系)の解剖

- 肝臓
- 胆道系

- 肝内胆管

- 肝門部胆管

- 胆のう

- 遠位胆管

肝十二指腸間膜内を走行

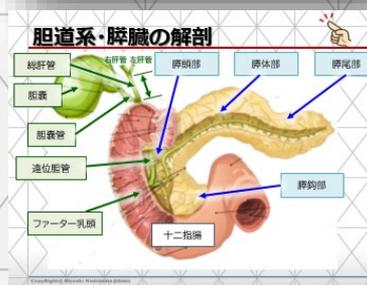
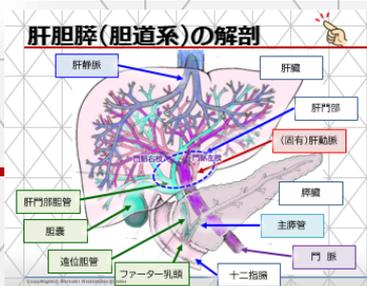
- 膵臓

膵臓(後腹膜)内を走行

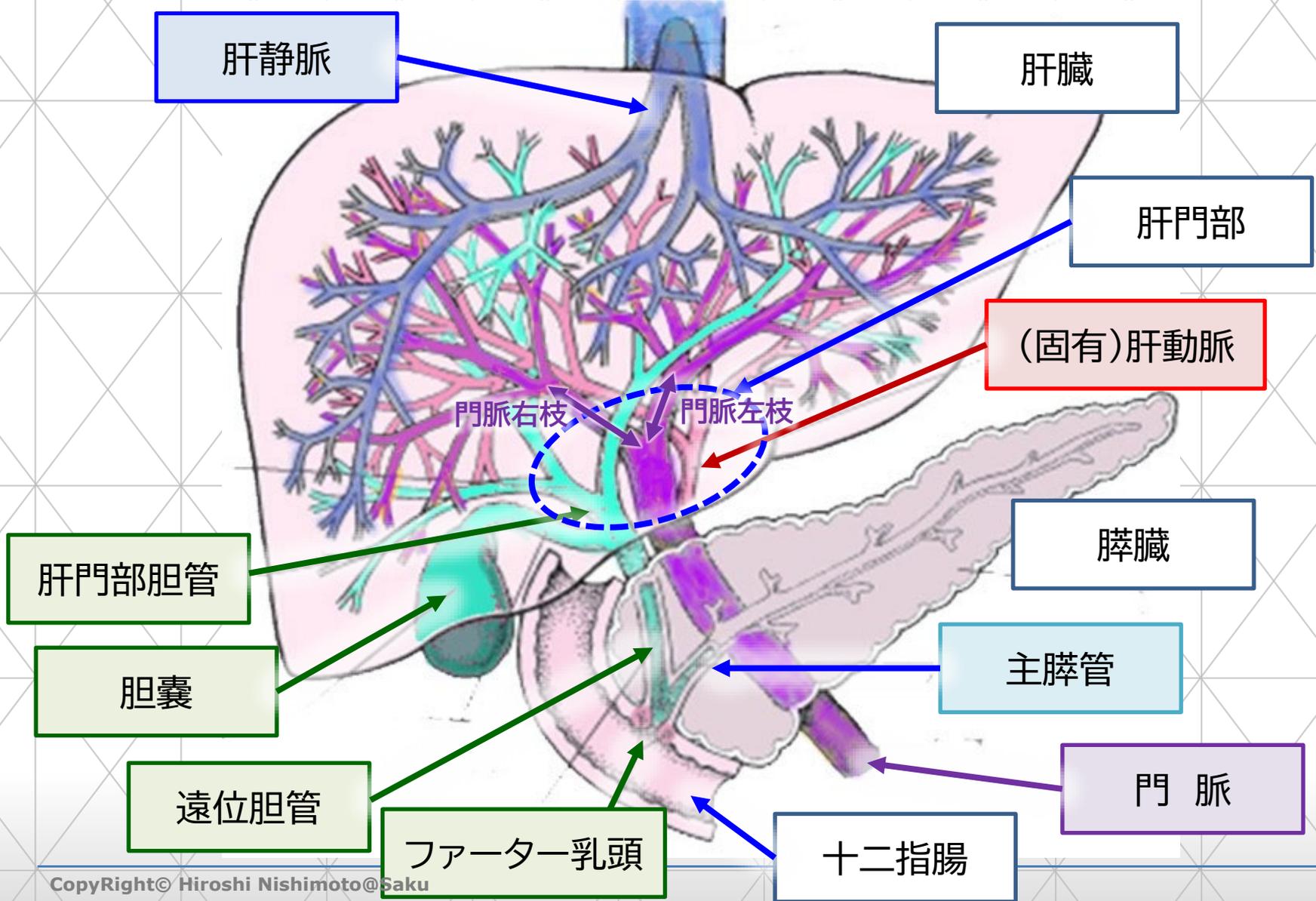
- 胆道系

- ファーター乳頭

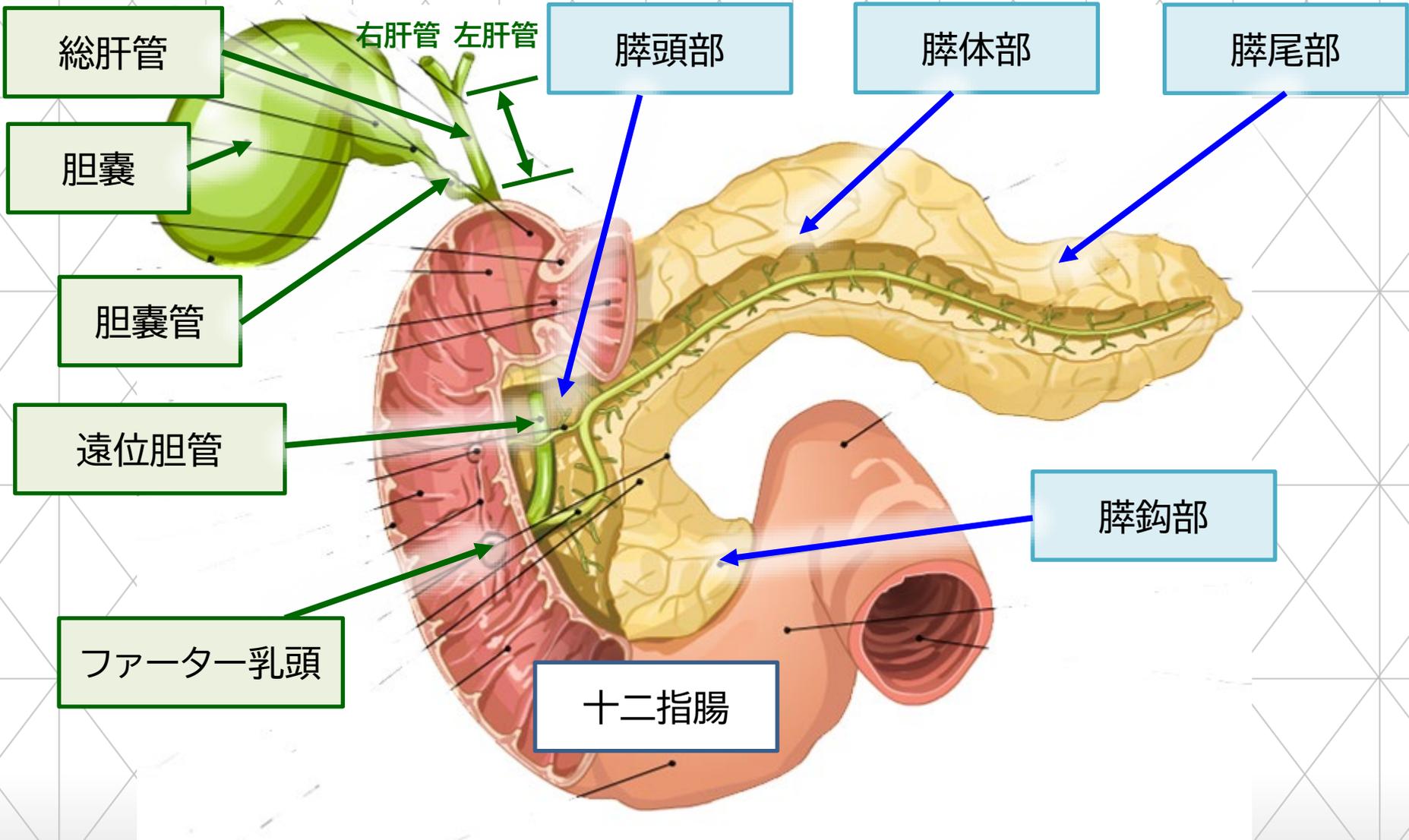
- 十二指腸



# 肝胆膵(胆道系)の解剖



# 胆道系・膵臓の解剖



# 腹腔内臓器の解剖

- 腹腔は、腹膜で被われた袋状の空間(腔)

後腹膜腔は「腔」と呼ばれるが、袋状ではない

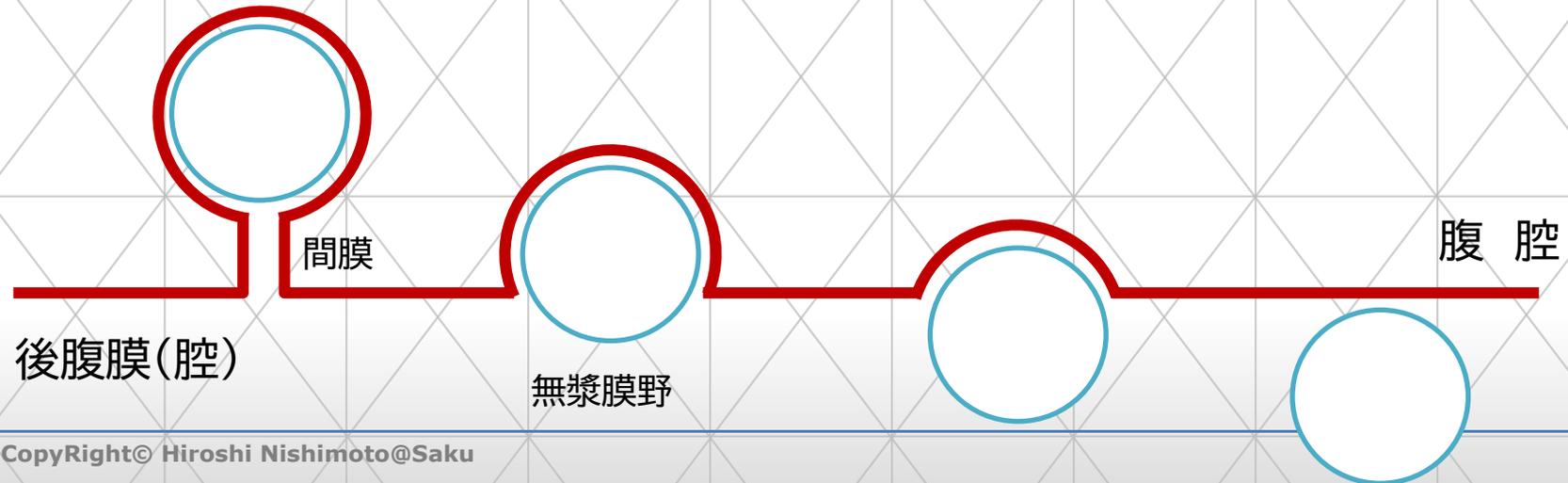
消化管・**肝臓**・脾臓・子宮/卵巣・膀胱は  
腹膜(漿膜)で 全部/一部が被われている

- 腹膜は折れ返り、臓器と後腹膜を結ぶ**間膜**を形成して、血管・リンパ管・神経の通路となる

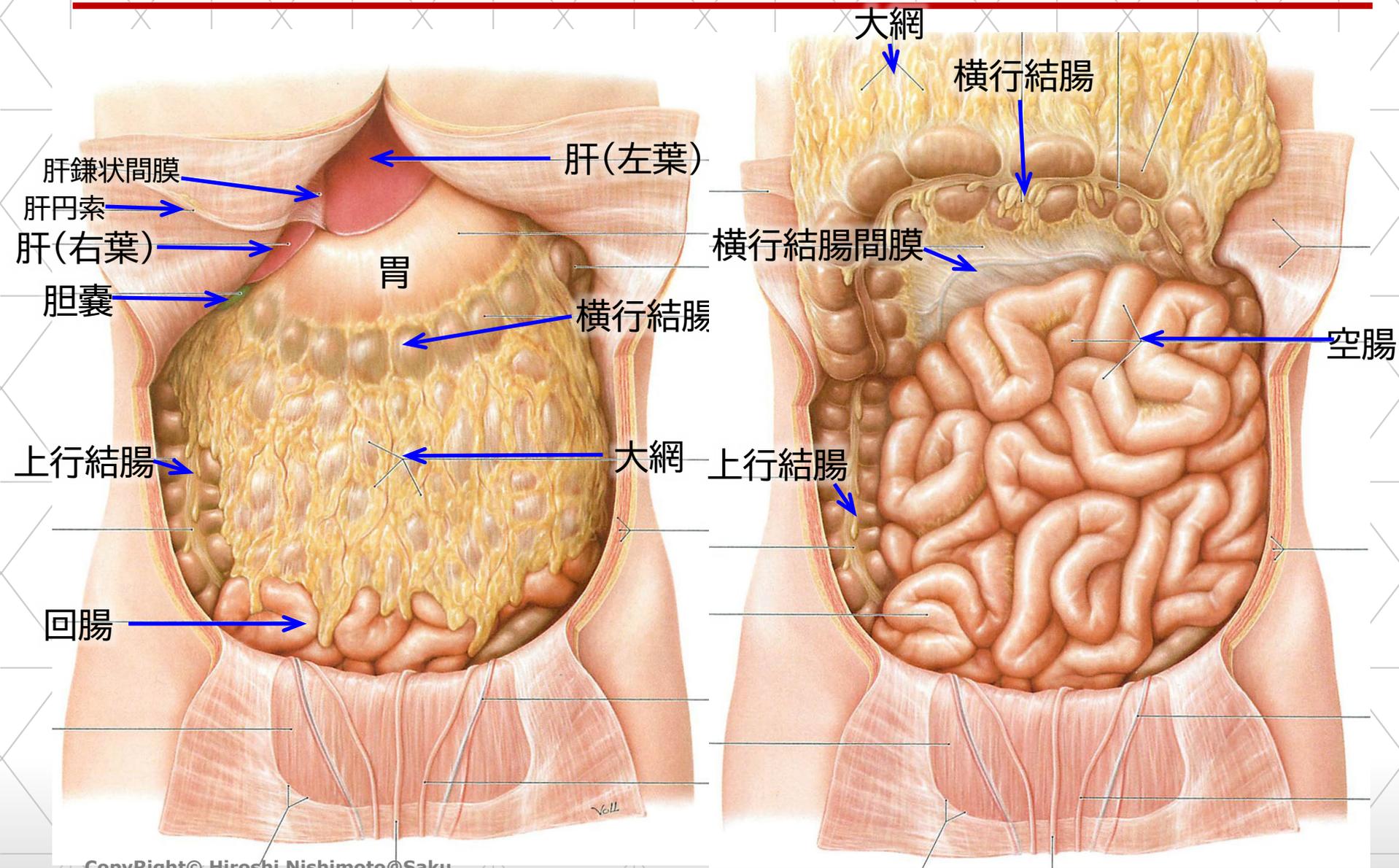
- 腹膜の背側は、結合組織/脂肪組織などからなる後腹膜(腔)腎臓・副腎、**膵臓**、十二指腸、下部直腸が存在  
その他にも、大動脈・下大静脈他の血管が通過

# 腹膜と内臓の関係

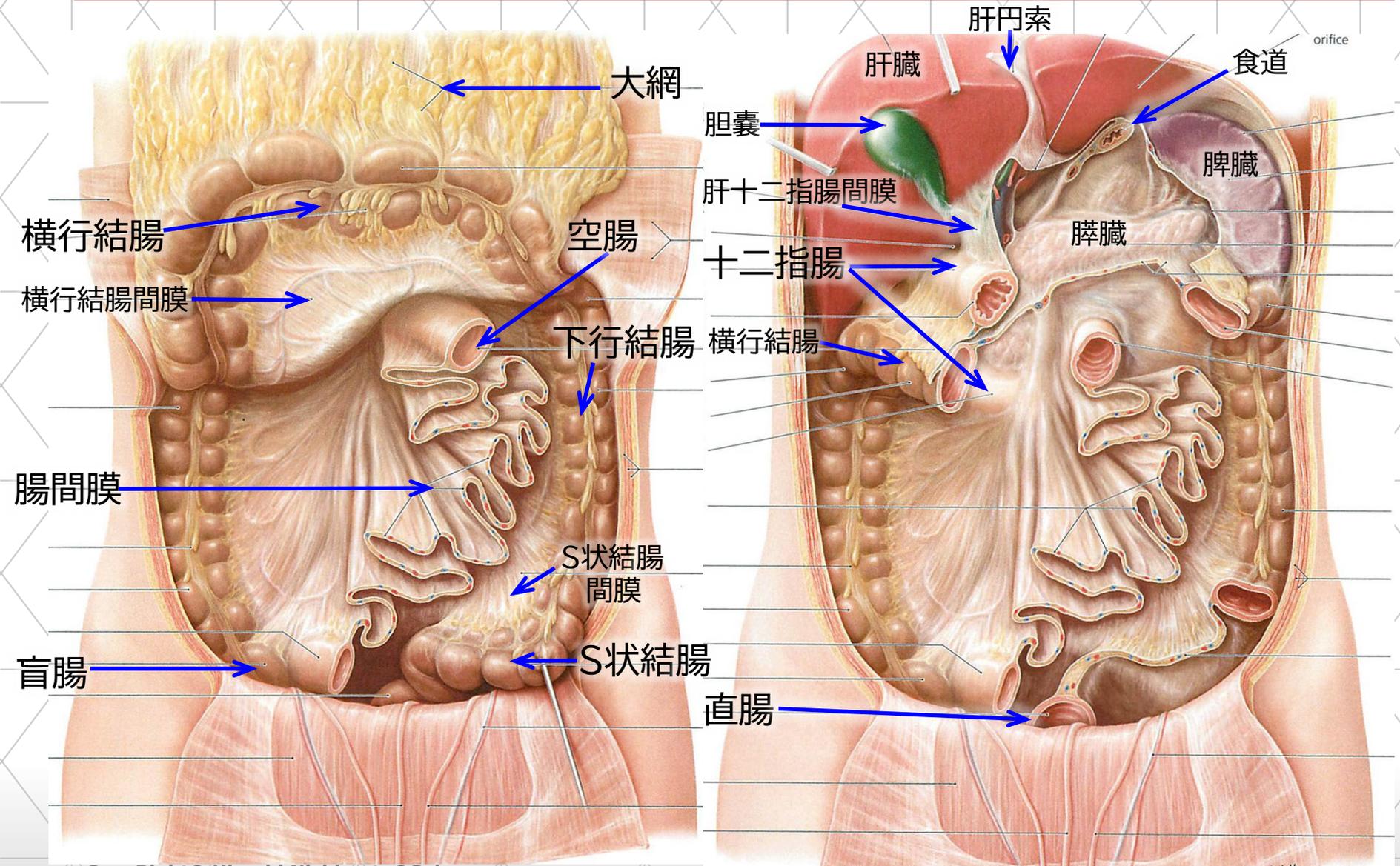
- 全体が腹膜(漿膜)に包まれる(間膜形成)  
胃・空腸・回腸・横行結腸・S状結腸・虫垂・卵巣
- 大部分が腹膜(漿膜)に包まれる(一部に無漿膜野)  
肝臓・胆嚢・盲腸・上行結腸・下行結腸
- 半分程度が腹膜(漿膜)に包まれる  
子宮・膀胱
- 全く腹膜(漿膜)に包まれない  
腎臓/副腎・十二指腸・膵臓



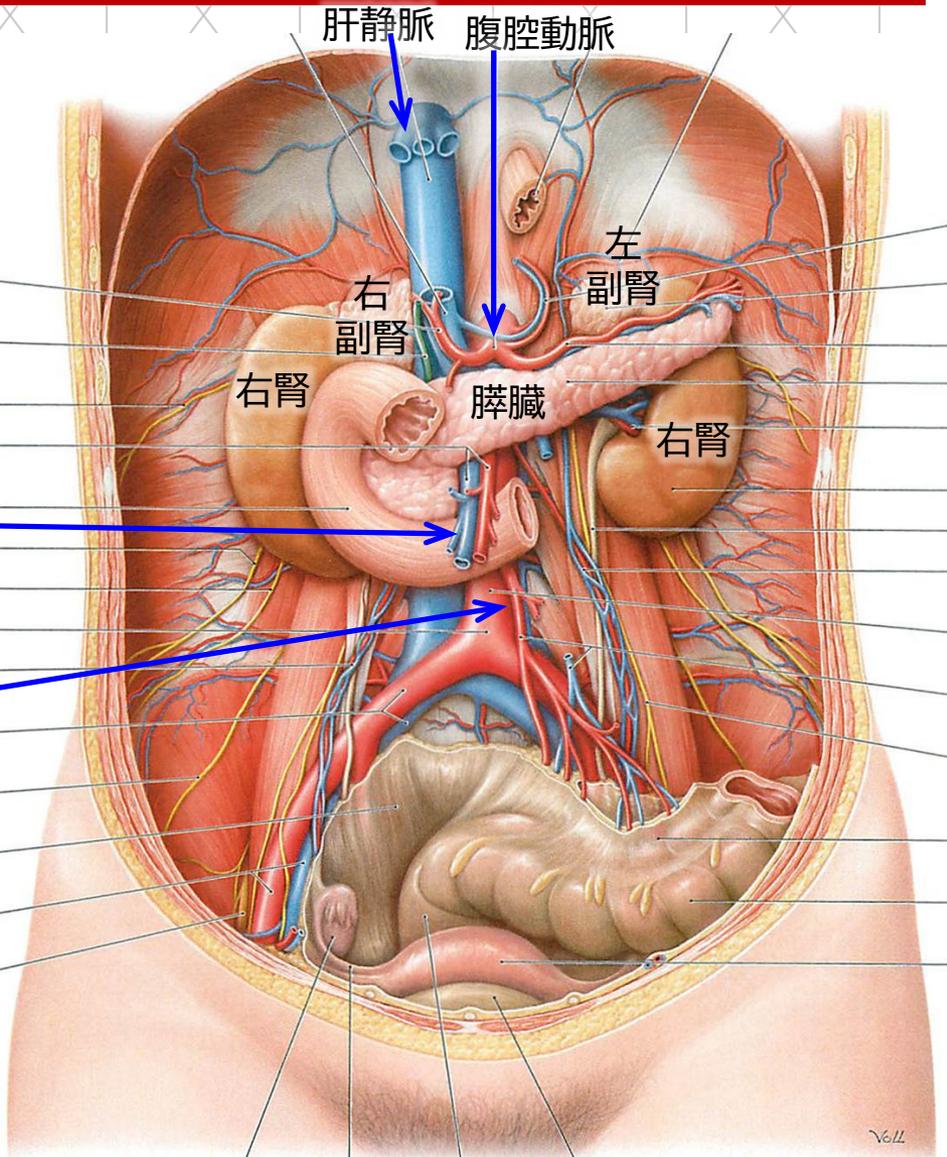
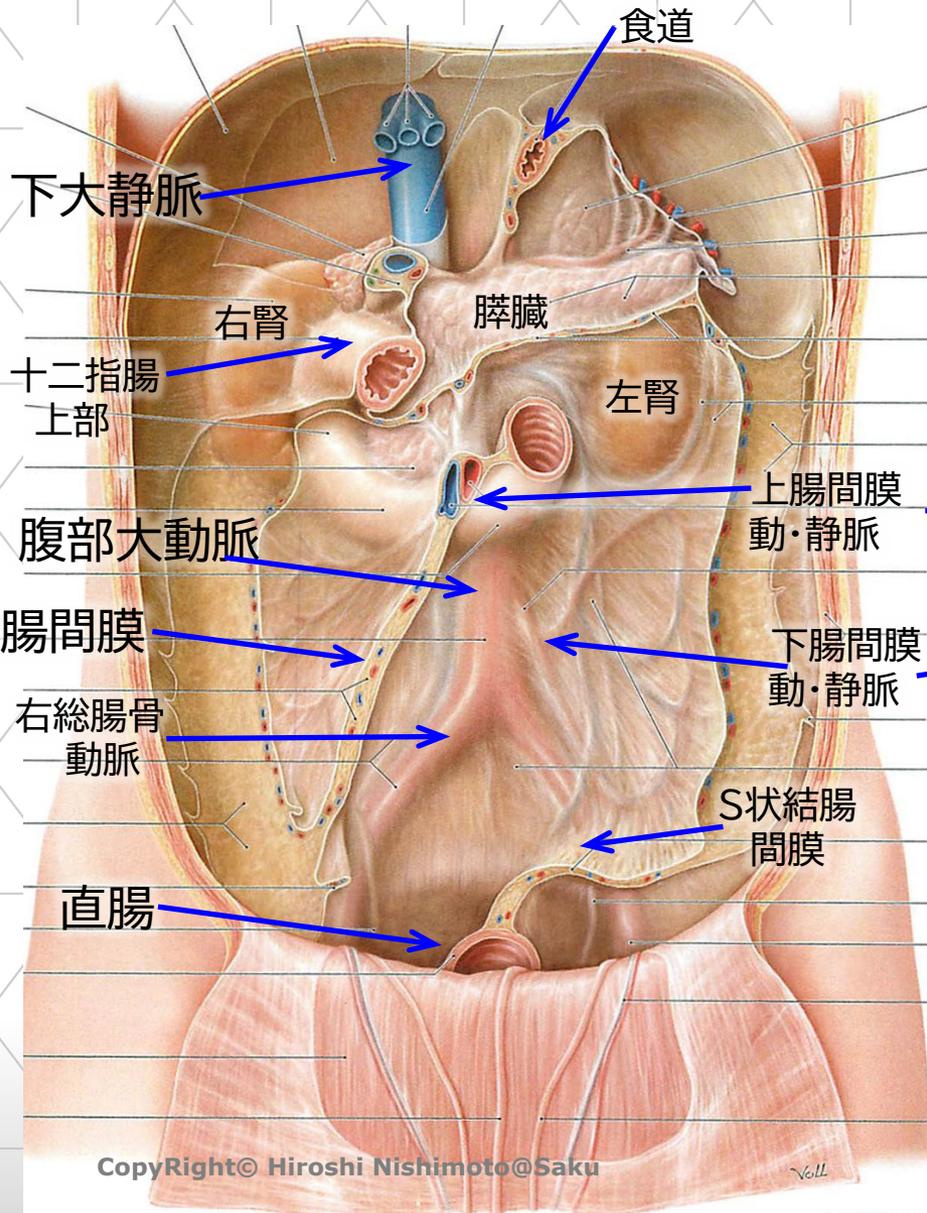
# 腹腔(腹膜腔) その1



# 腹腔(腹膜腔) その2



# 腹腔(腹膜腔)と後腹膜腔



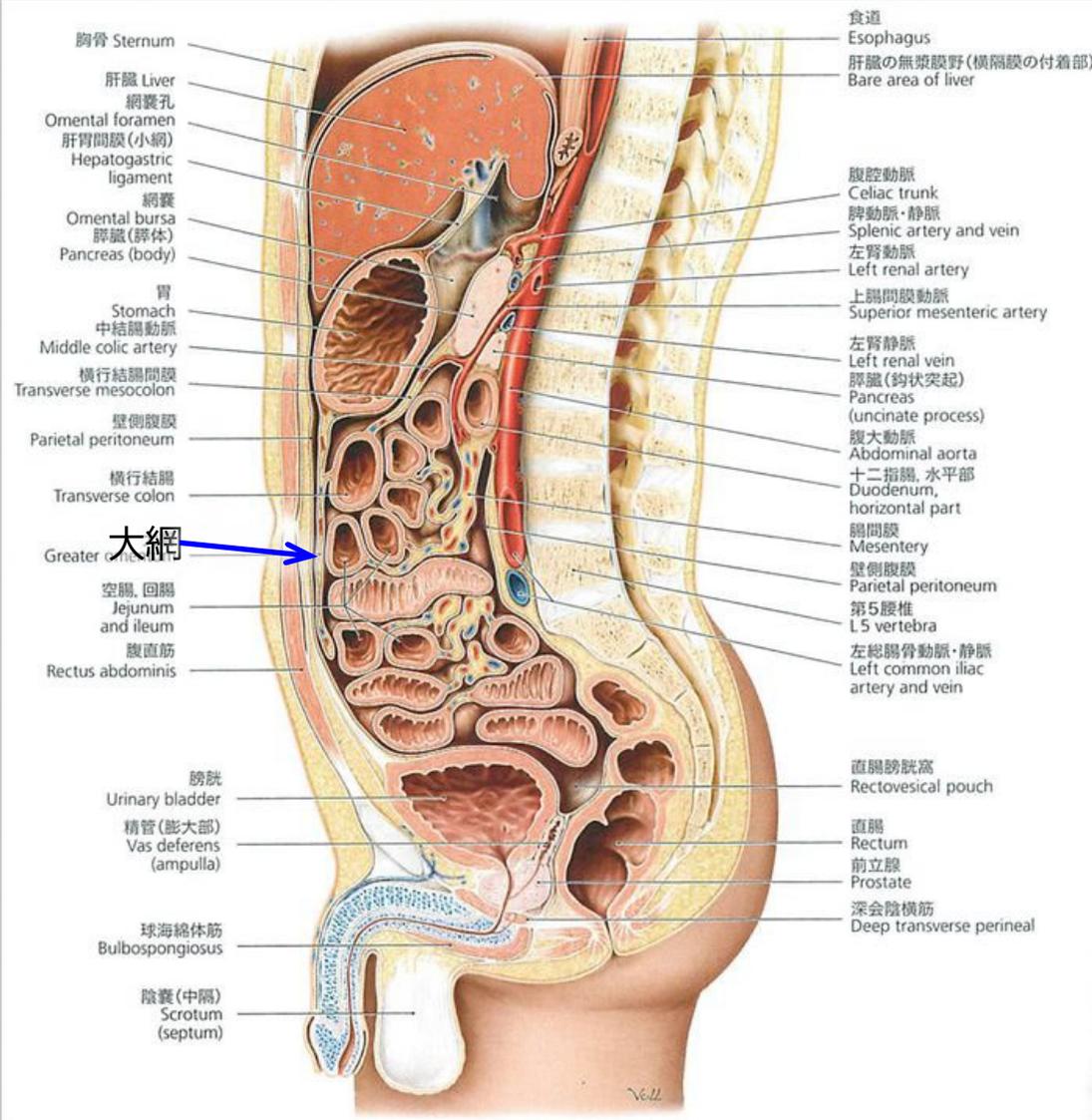
# 腹部の側面像

## ● 腹腔

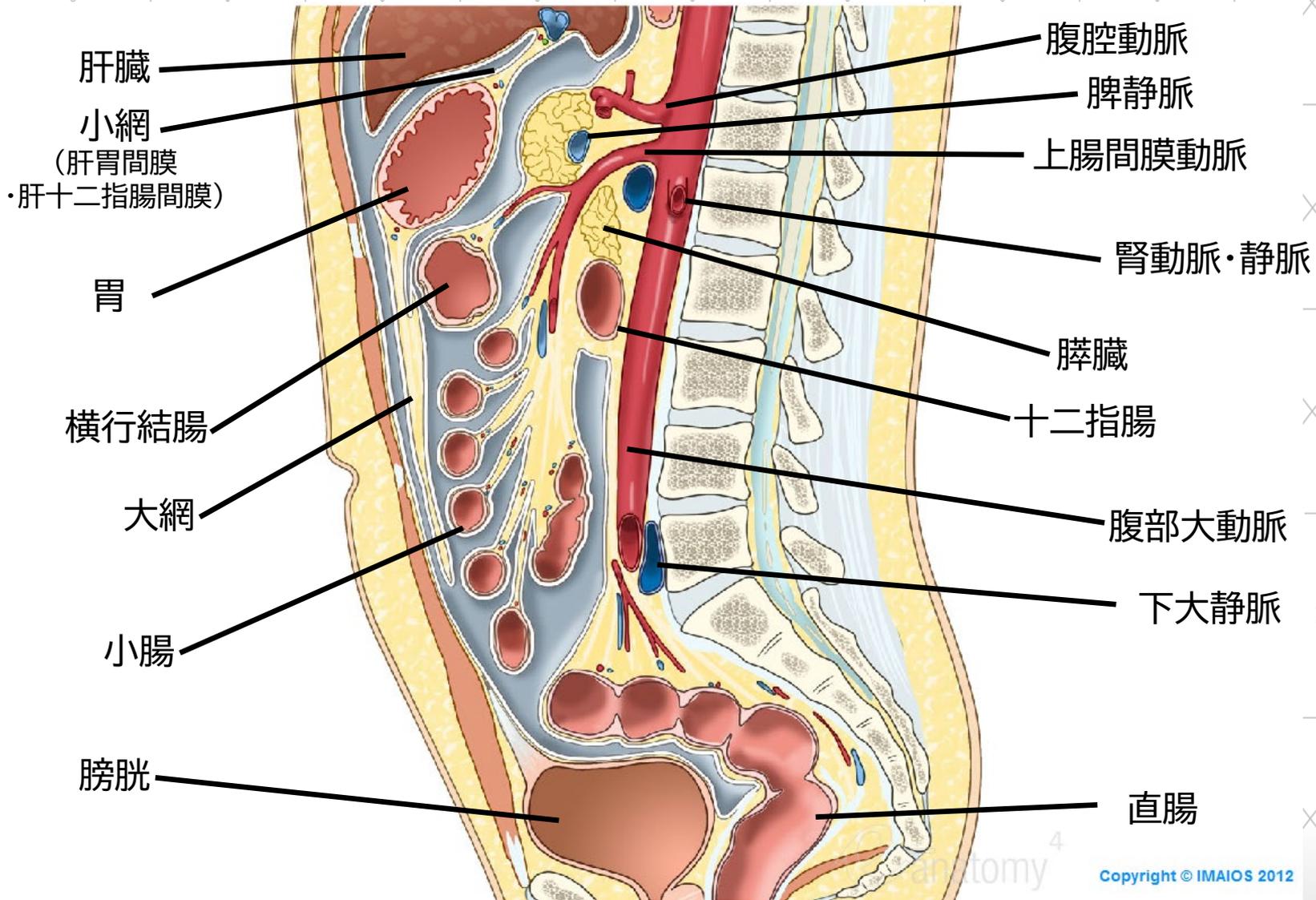
- 肝臓/胆嚢・胃
- ・空腸・回腸・盲腸
- ・上行/横行/下行
- ・S状結腸
- ・上部直腸

## ● 後腹膜腔

- 十二指腸・膵臓
- ・下部直腸・腎臓
- ・副腎・腹部大動脈
- ・下大静脈・脊椎

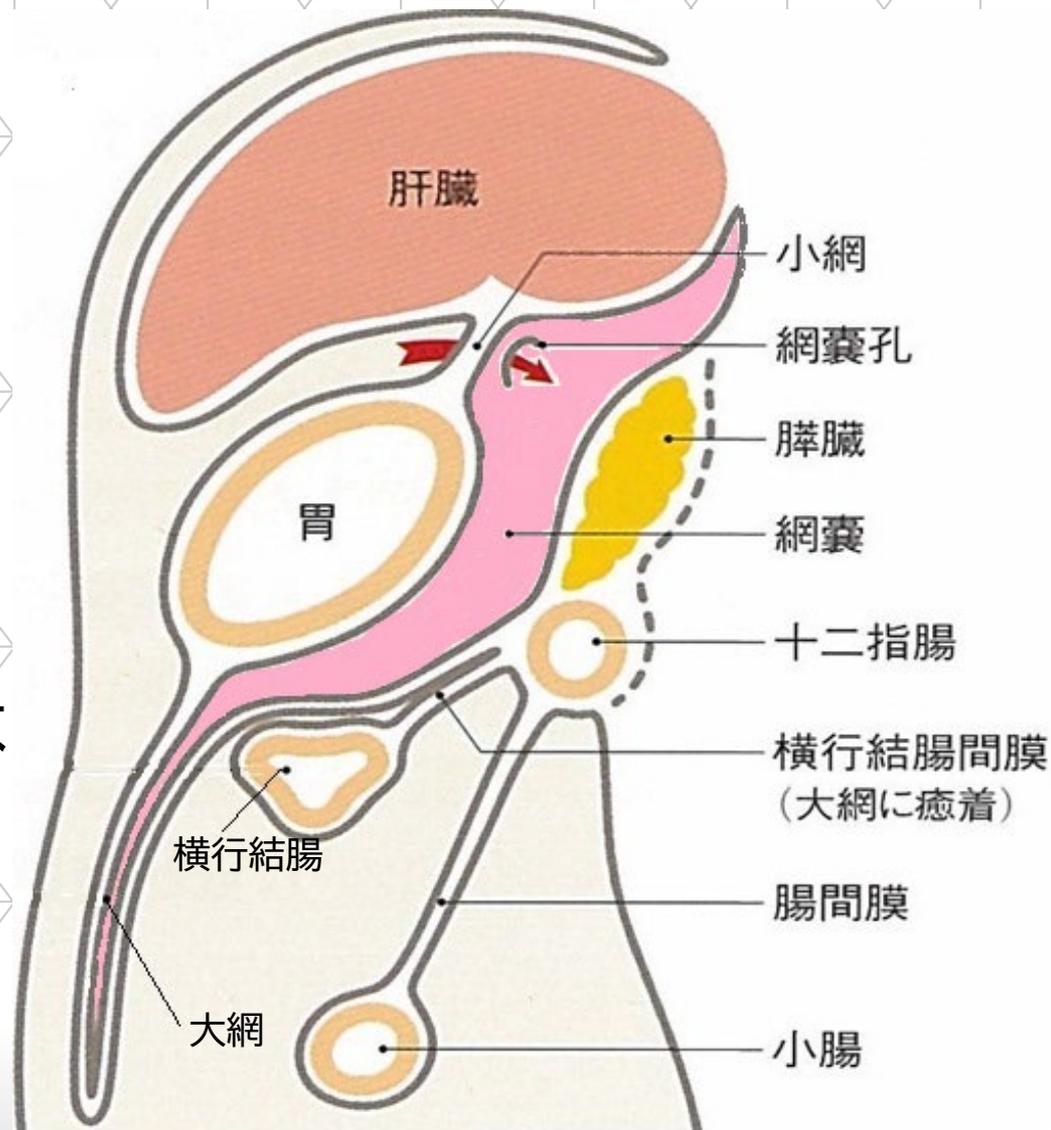


# 腹部の側面像



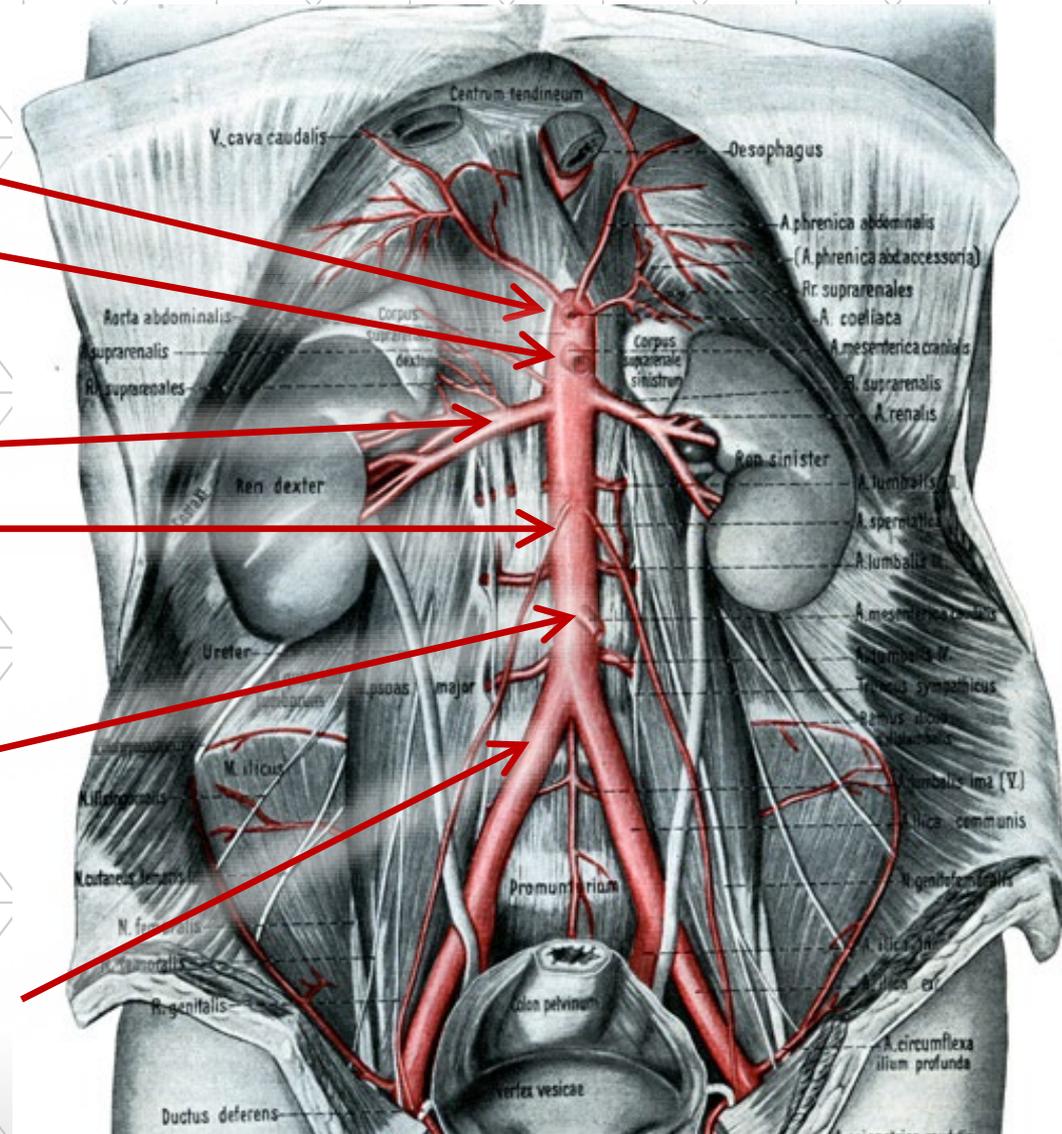
# 腹膜と漿膜の関係

- 前の腹膜(腹側腹膜)と後の腹膜(背側腹膜)、各臓器を被う漿膜は一続き
- 胃に続く腹膜は
  - 小網  
肝胃間膜・肝十二指腸間膜
  - 大網
- 横行結腸・S状結腸は～結腸間膜で、他の結腸・直腸は背側腹膜の延長で被われている

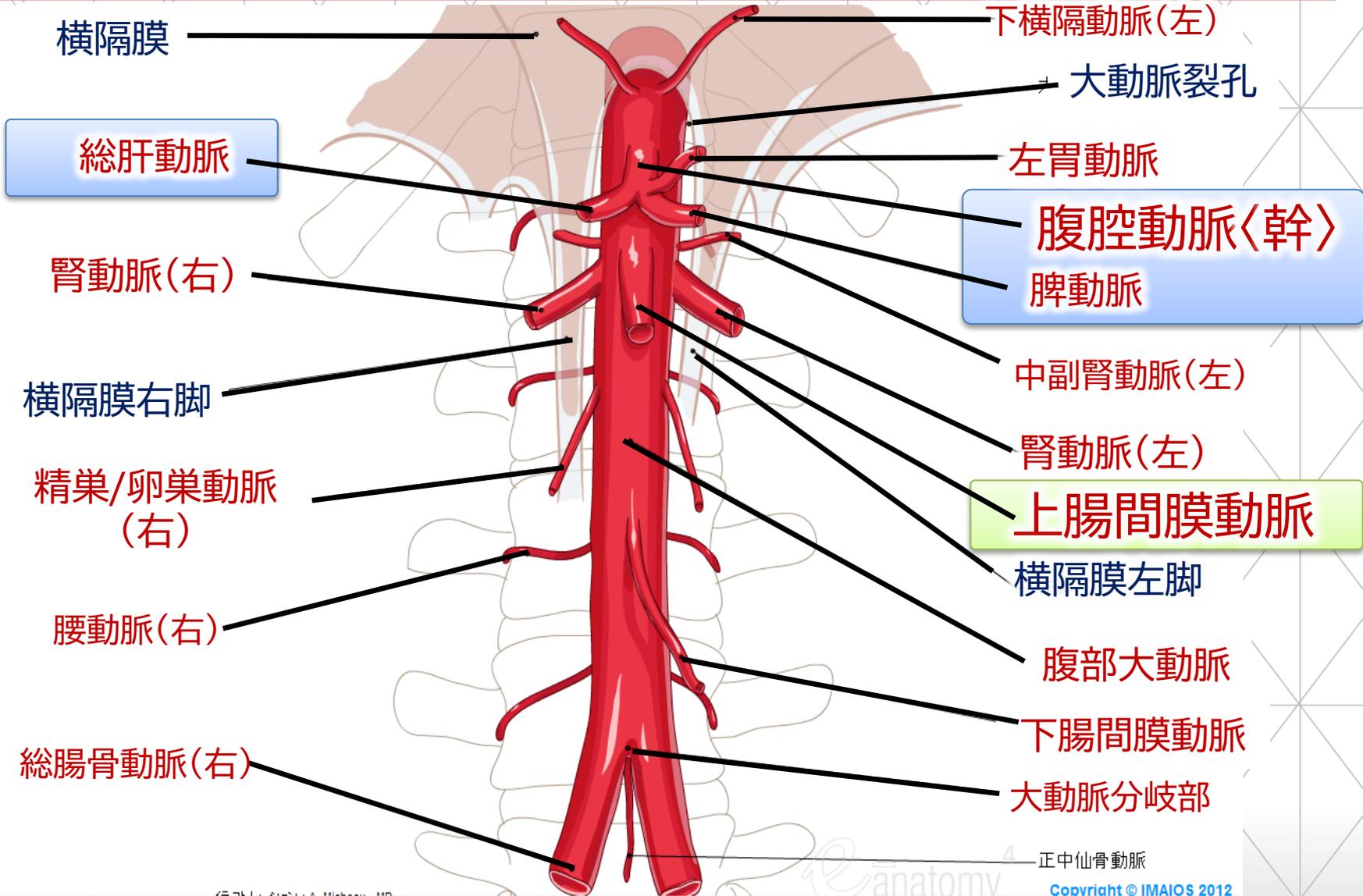


# 腹部の動脈の分岐順

- 腹腔動脈
- 上腸間膜動脈
- 腎動脈(左右)
- 精巣<卵巣>動脈
- 下腸間膜動脈
- 総腸骨動脈(左右)



# 腹部の動脈



# 腹腔動脈の分岐

● 総肝動脈

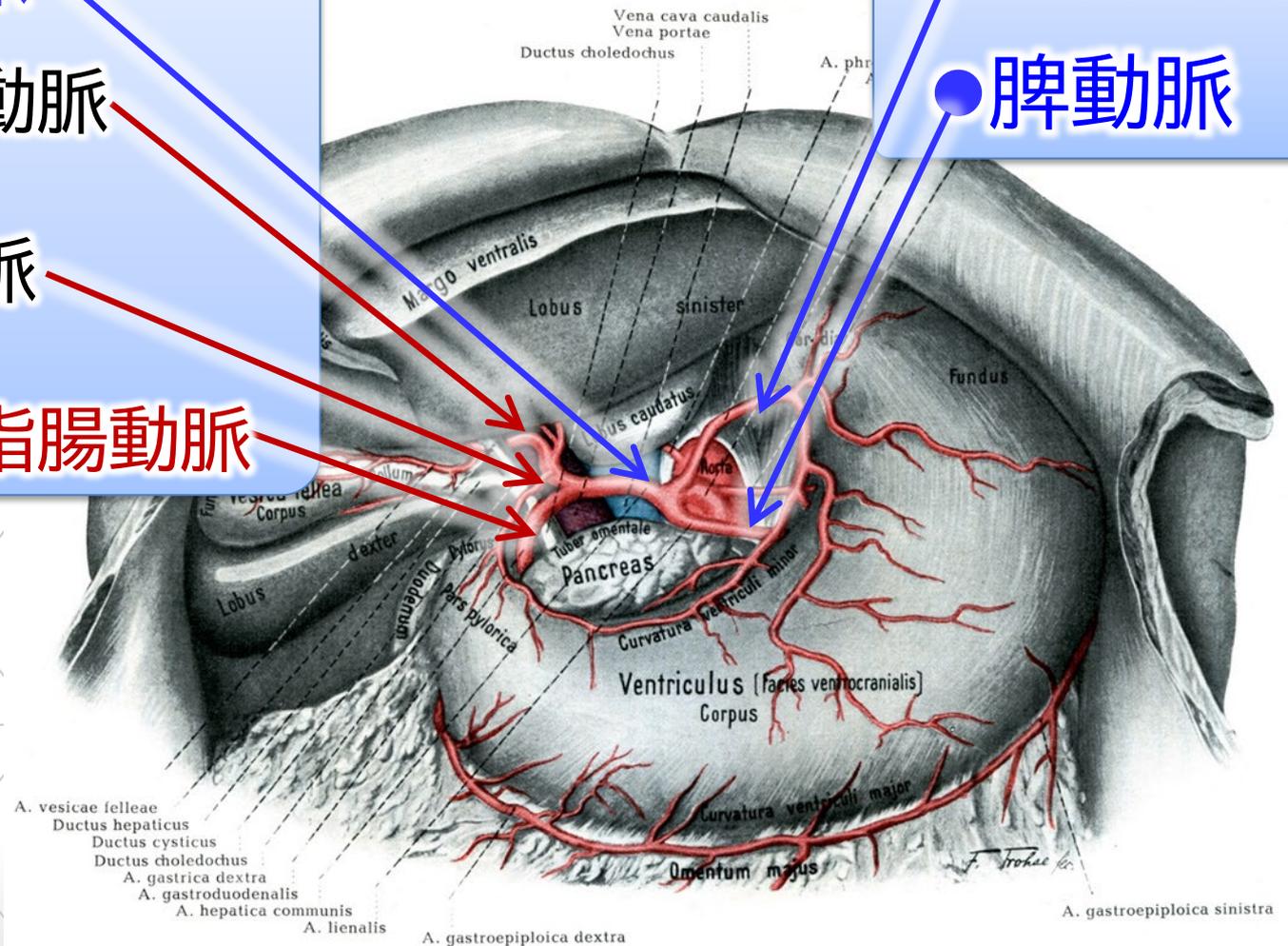
● 固有肝動脈

● 右胃動脈

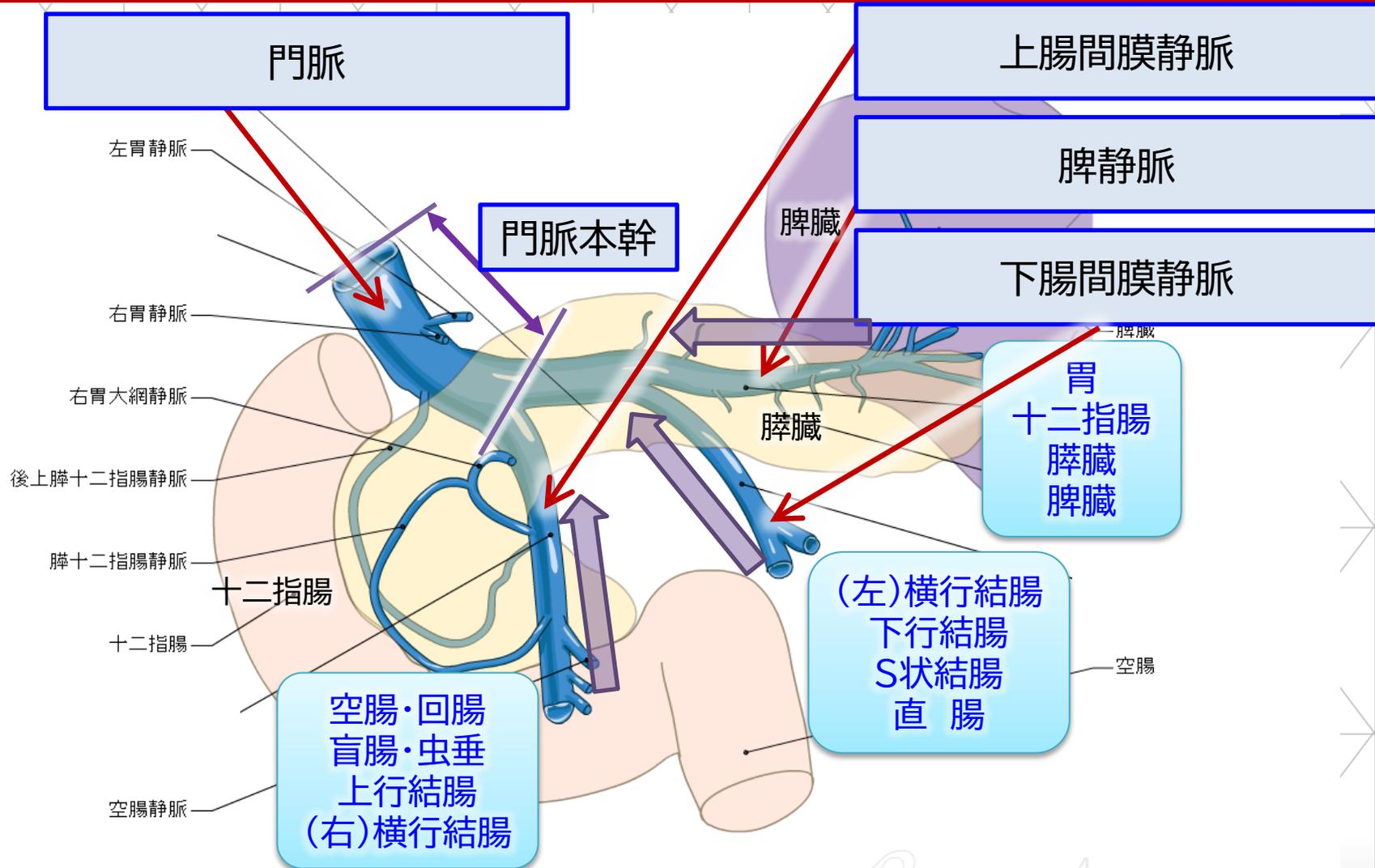
● 胃十二指腸動脈

● 左胃動脈

● 脾動脈



# 腹部の静脈(脾・十二指腸周囲)



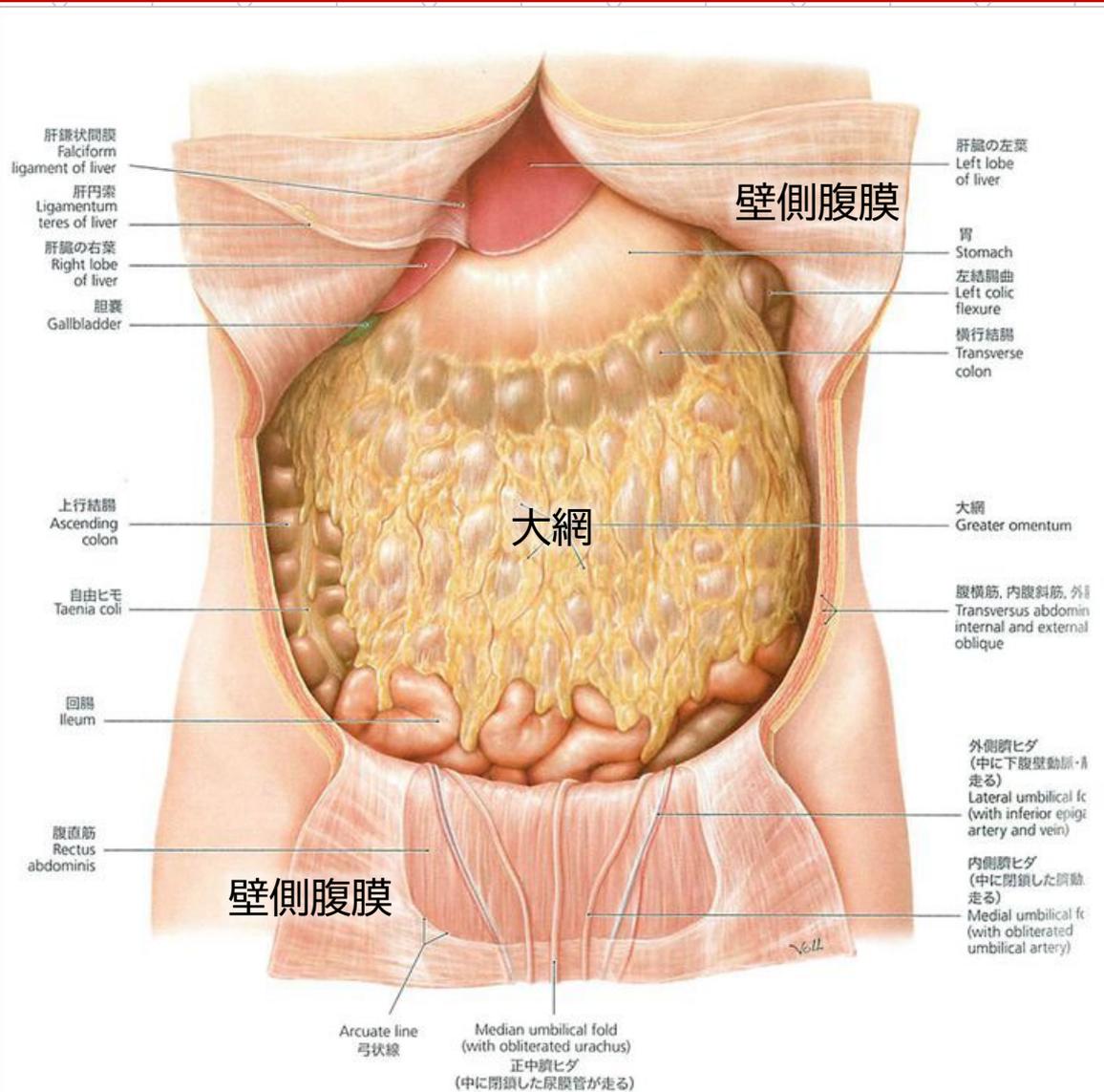
イラストレーション: A. Micheau - MD

e anatomy<sup>4</sup>

Copyright © IMAIOS 2012

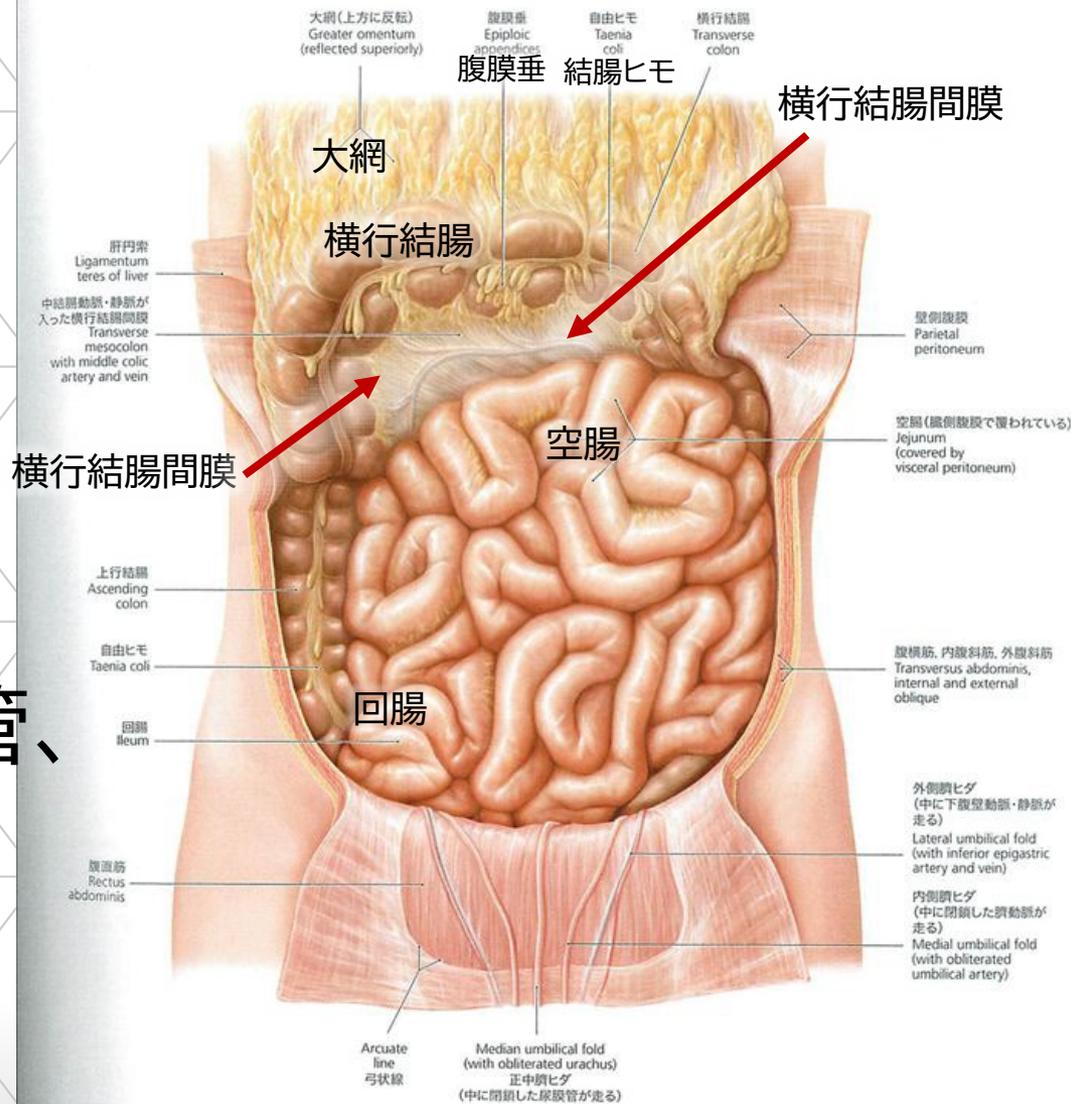
# 腹腔内臓器の位置関係

- 腹壁の裏は腹膜で被われる (壁側腹膜)
- 壁側腹膜で包まれた場所が腹腔 (正確には腹膜腔)
- 腹腔の中に腹部内臓が入っている



# 腹腔内臓器の位置関係

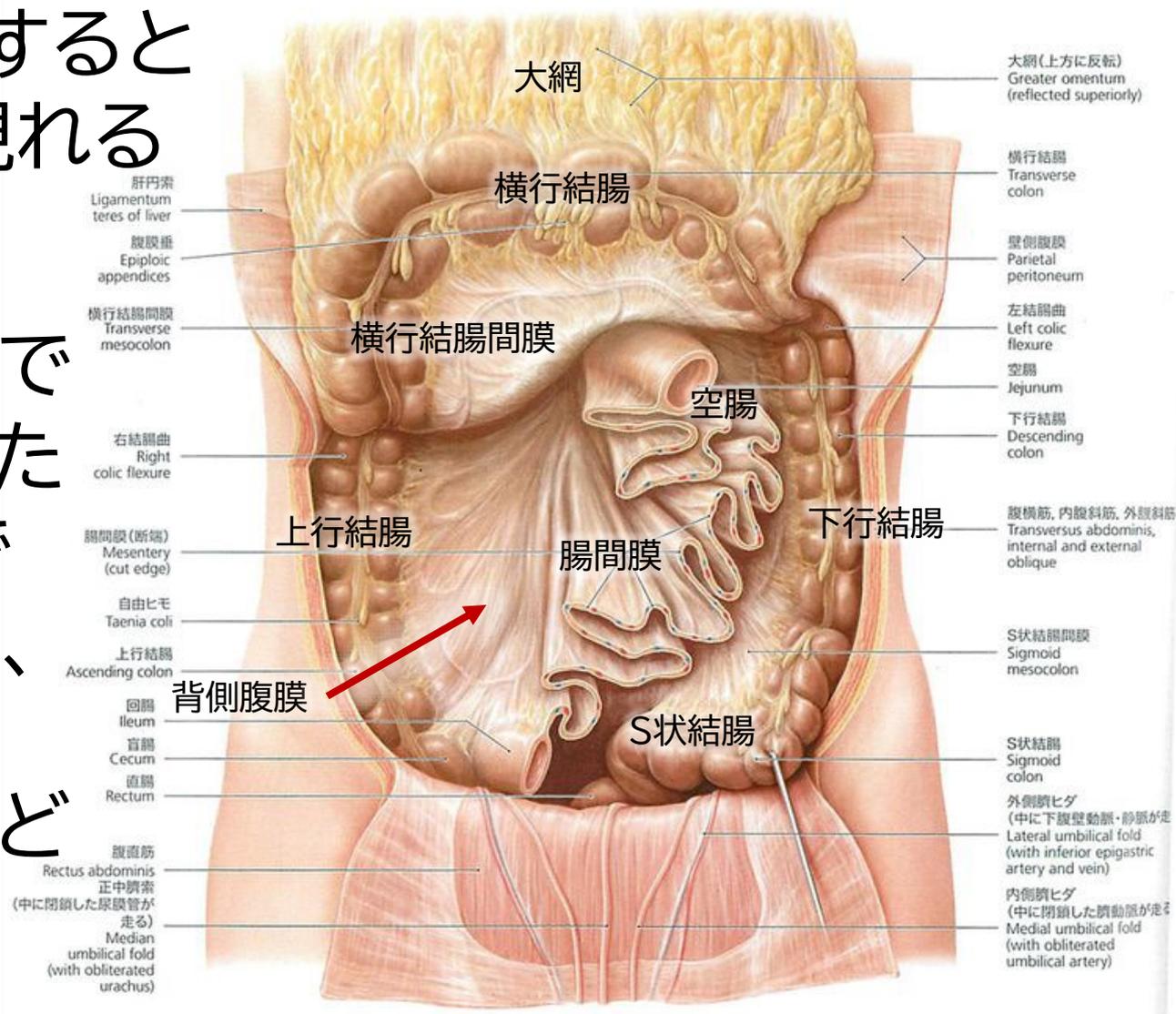
- 大網・横行結腸  
・横行結腸間膜を跳ね上げると  
空腸・回腸  
(狭義の小腸)
- 横行結腸間膜には  
動/静脈、リンパ管、  
神経などが走り、  
横行結腸と  
つながる



# 腹腔内臓器の位置関係

- 小腸を切断すると腸間膜が現れる

- 腸間膜は2枚の腹膜でサンドされた結合組織でできており、動/静脈やリンパ管などの通り道

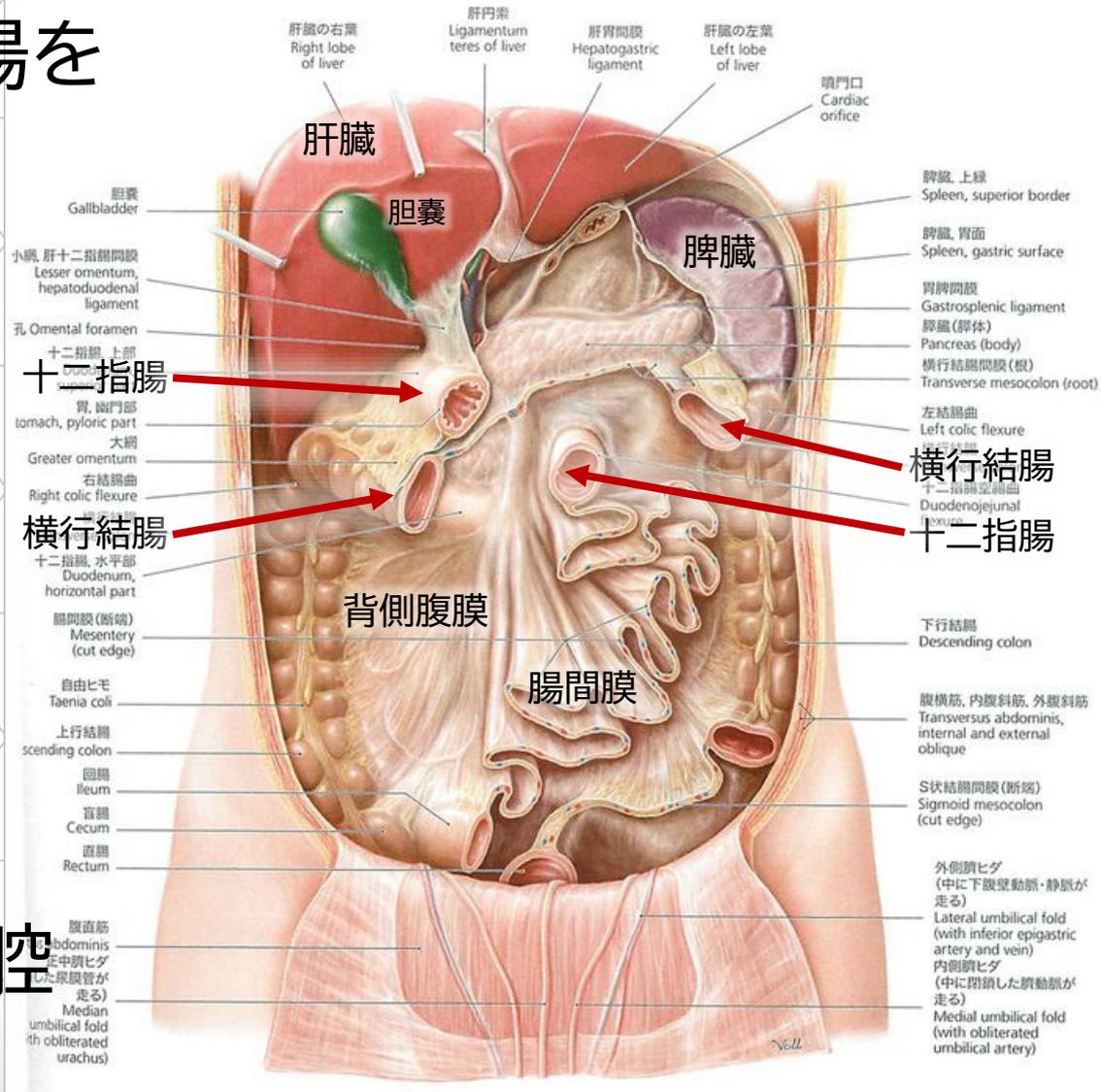


# 腹腔内臓器の位置関係

● 胃・大網・横行結腸を切断すると、背中側の壁側腹膜がみえてくる

● 肝臓を上を跳ね上げると下面に胆嚢、肝十二指腸間膜が存在する

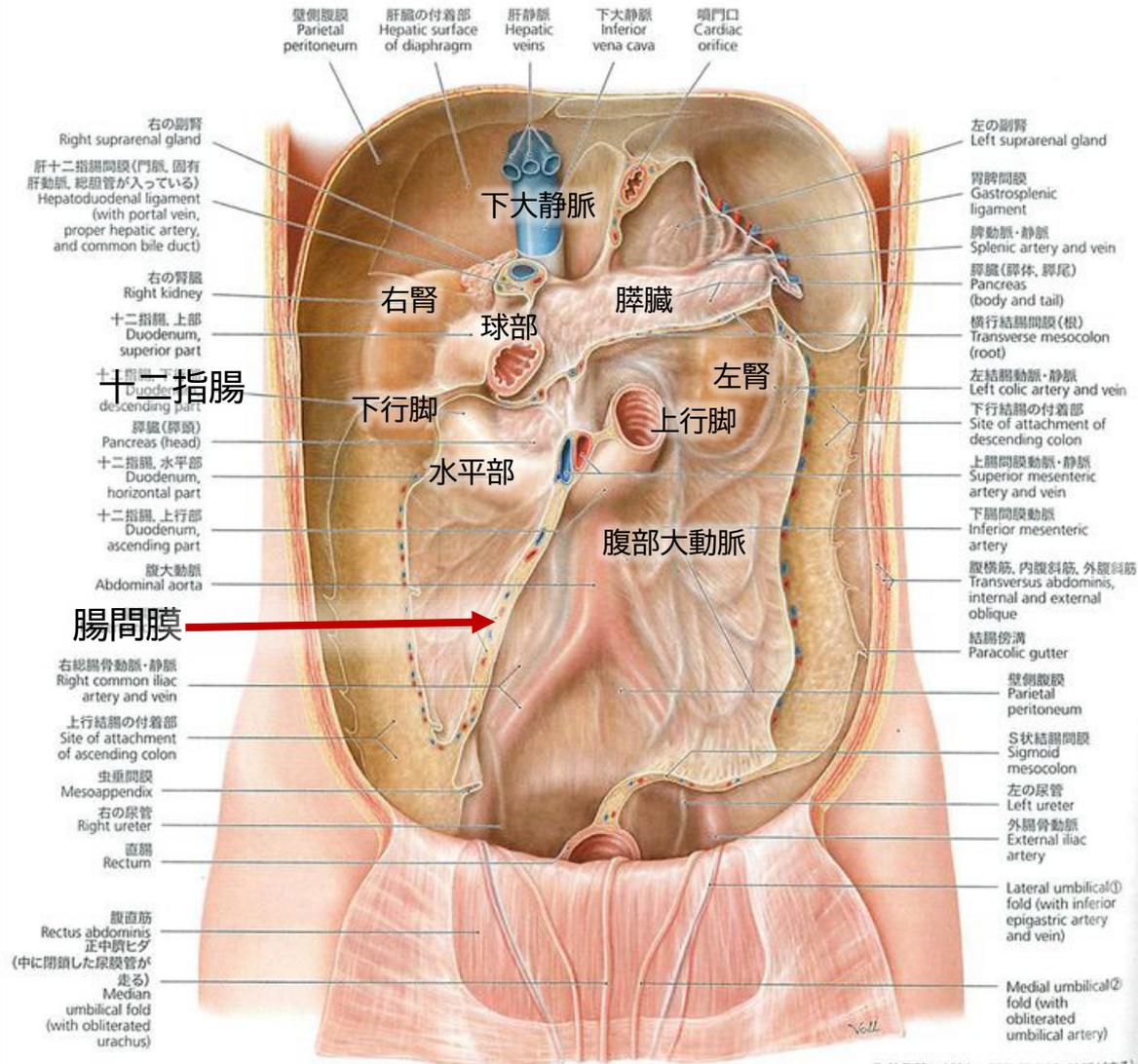
● 壁側腹膜の向こうは後腹膜腔



# 腹腔内臓器の位置関係

● 肝・胆道系と結腸・腸間膜を取り去ると、後腹膜臓器がみえてくる

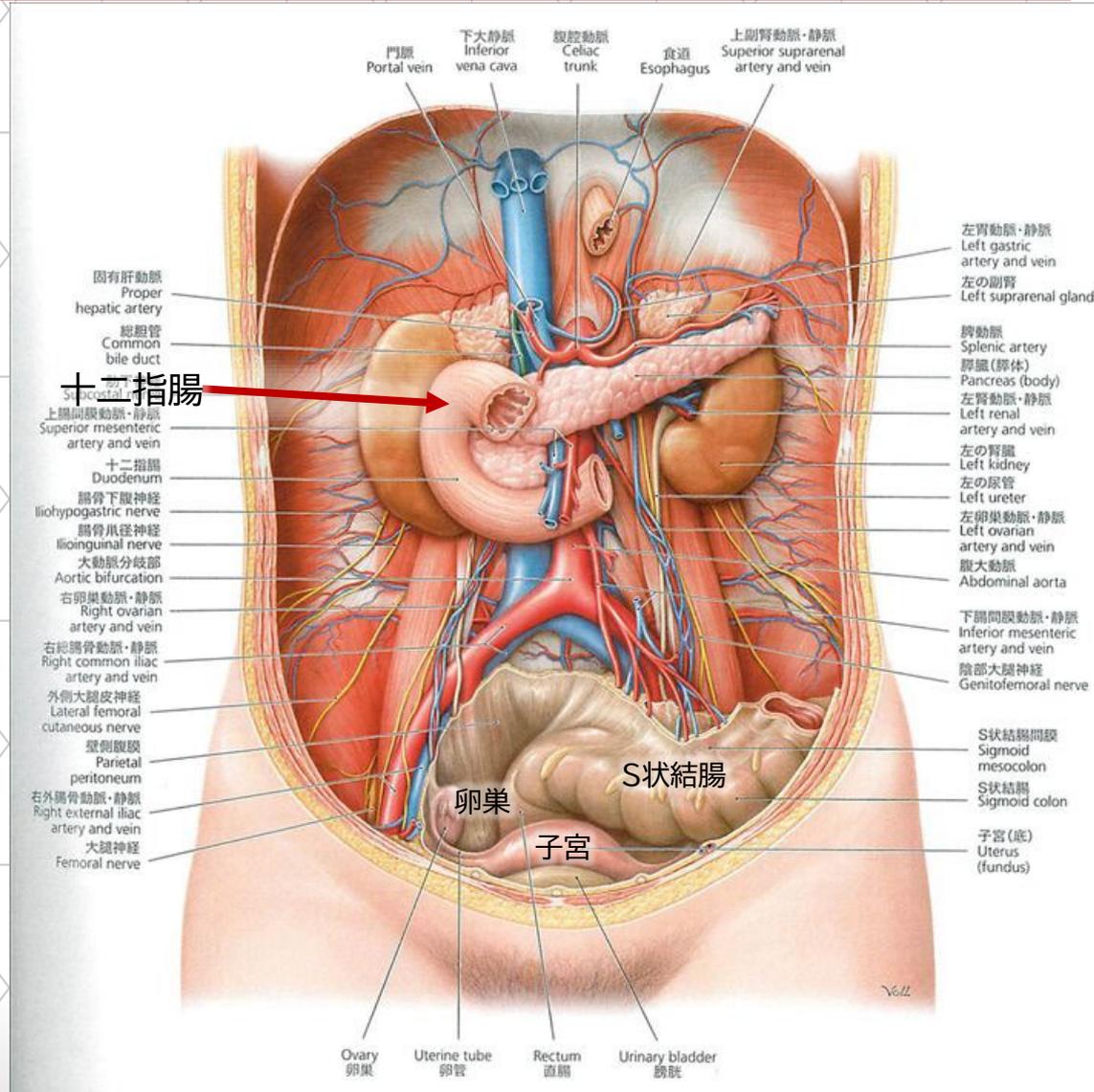
● 十二指腸・膵臓 腎臓・副腎、腹部大動脈・下大静脈が後腹膜腔に存在する



① 外側臍ヒダ (中に下腹動脈・静脈が走る)  
② 内側臍ヒダ (中に閉鎖した臍動脈が走る)

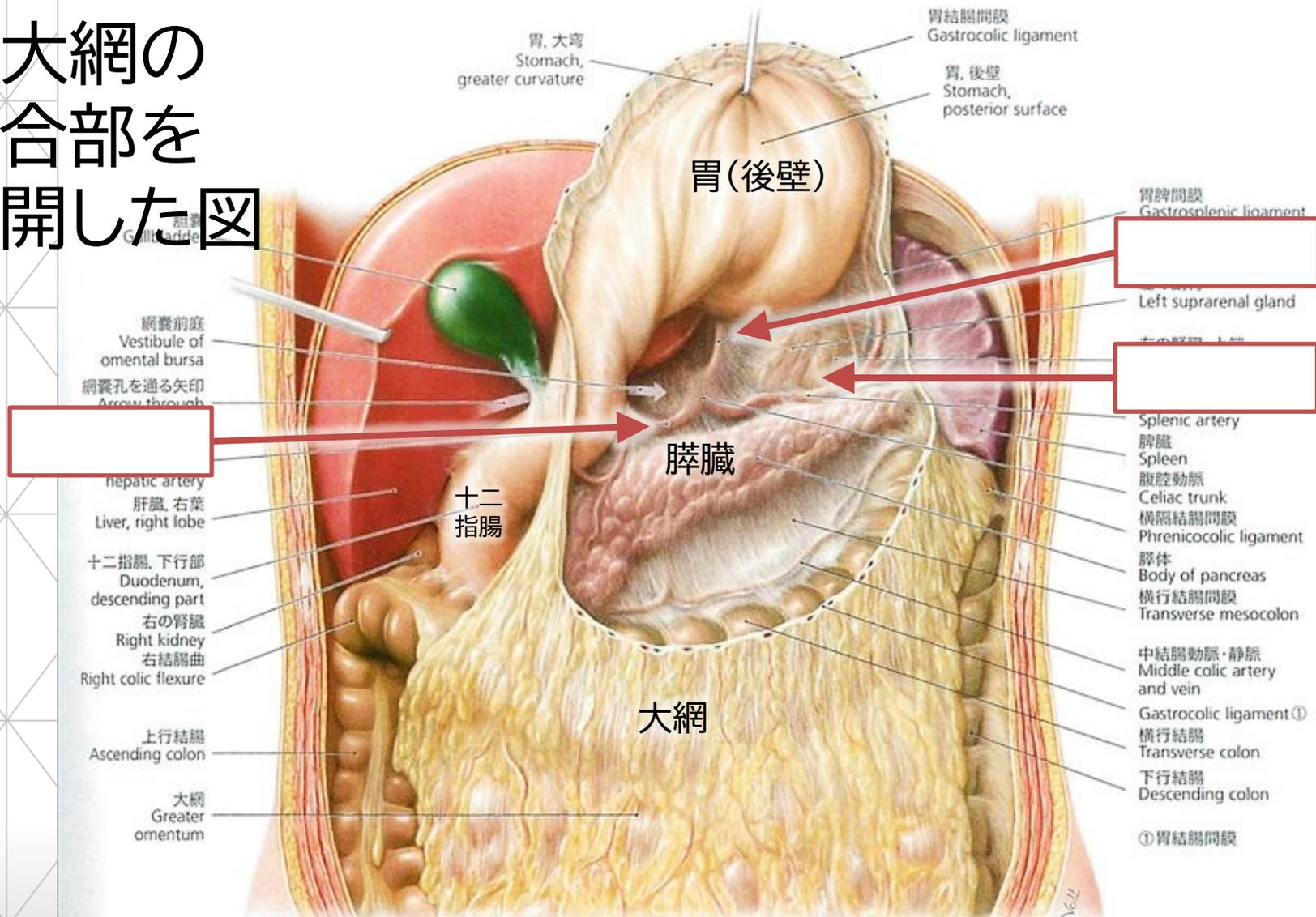
# 後腹膜臓器の位置関係

- 後腹膜腔を埋めている脂肪・結合組織を取り去った状況
- 十二指腸・膵臓、腎臓・副腎、腹部大動脈・下大静脈が存在
- 後腹膜臓器以外にS状結腸・直腸、子宮・卵巣がみえている



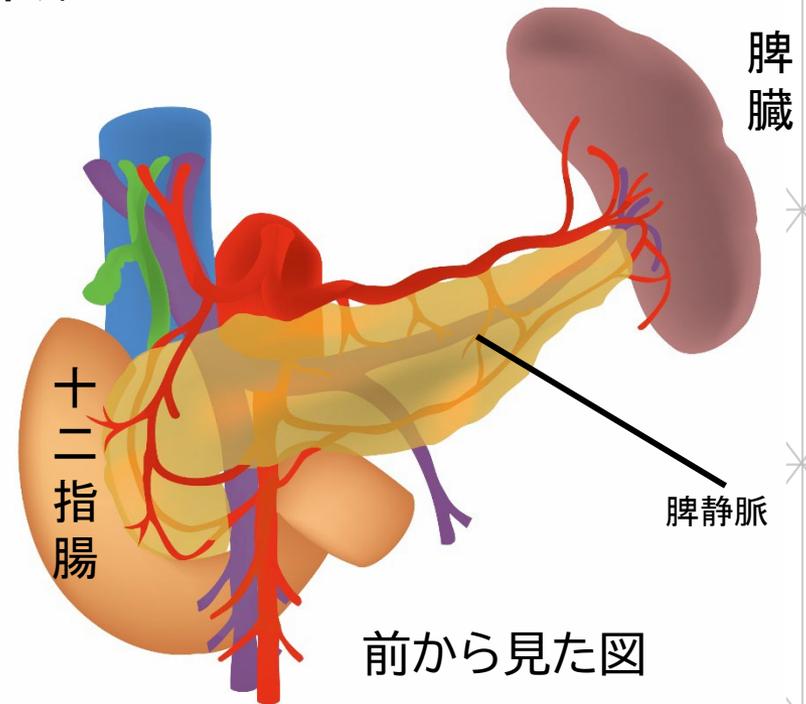
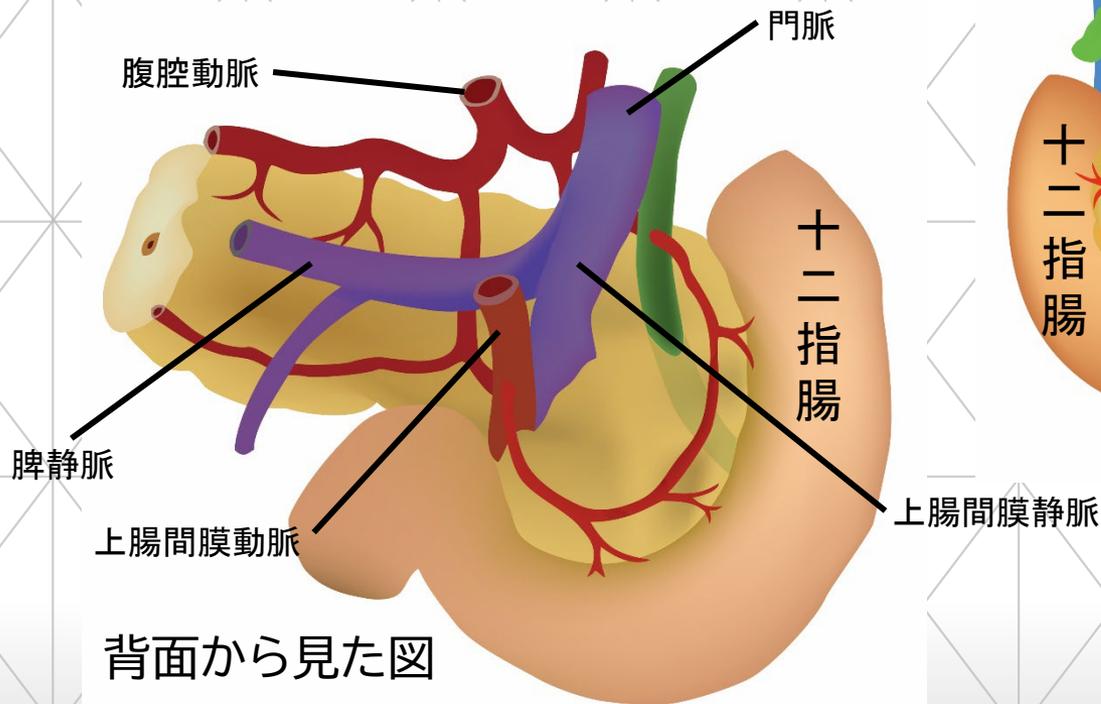
# 腹腔内臓器の位置関係

## ● 胃・大網の接合部を切開した図



# 膵臓の解剖的位置

- 後腹膜腔 (retroperitoneal space) にあり、周囲は後腹膜腔の脂肪組織
- 頭部は十二指腸、尾部は脾臓に接する



# 膵臓の働き

- 消化酵素を十二指腸に分泌

- アミラーゼ
- リパーゼ
- トリプシン、キモトリプシン

炭水化物を分解  
脂肪を分解  
タンパク質を分解

- 消化管ホルモンにより  
消化管運動を制御

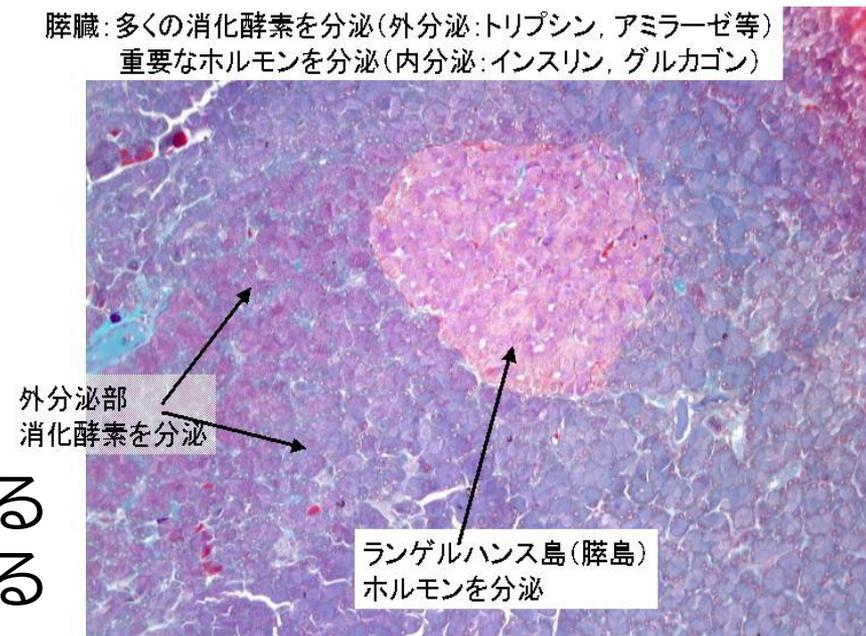
- ガストリン
- セクレチン

- 血糖コントロールする  
ホルモンを分泌

- インスリン
- グルカゴン

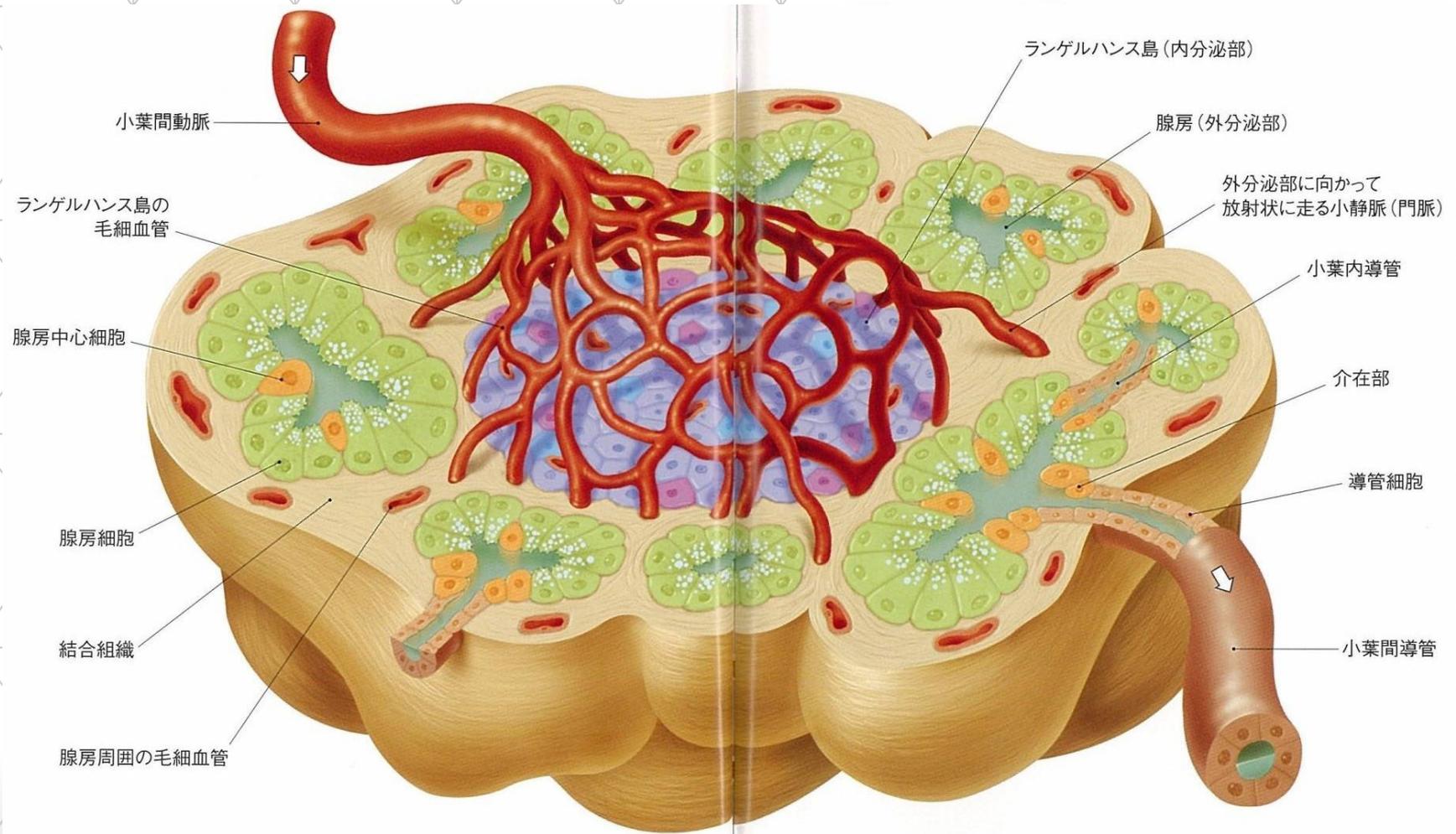
血糖を下げる  
血糖を上げる

膵臓: 多くの消化酵素を分泌(外分泌: トリプシン, アミラーゼ等)  
重要なホルモンを分泌(内分泌: インスリン, グルカゴン)

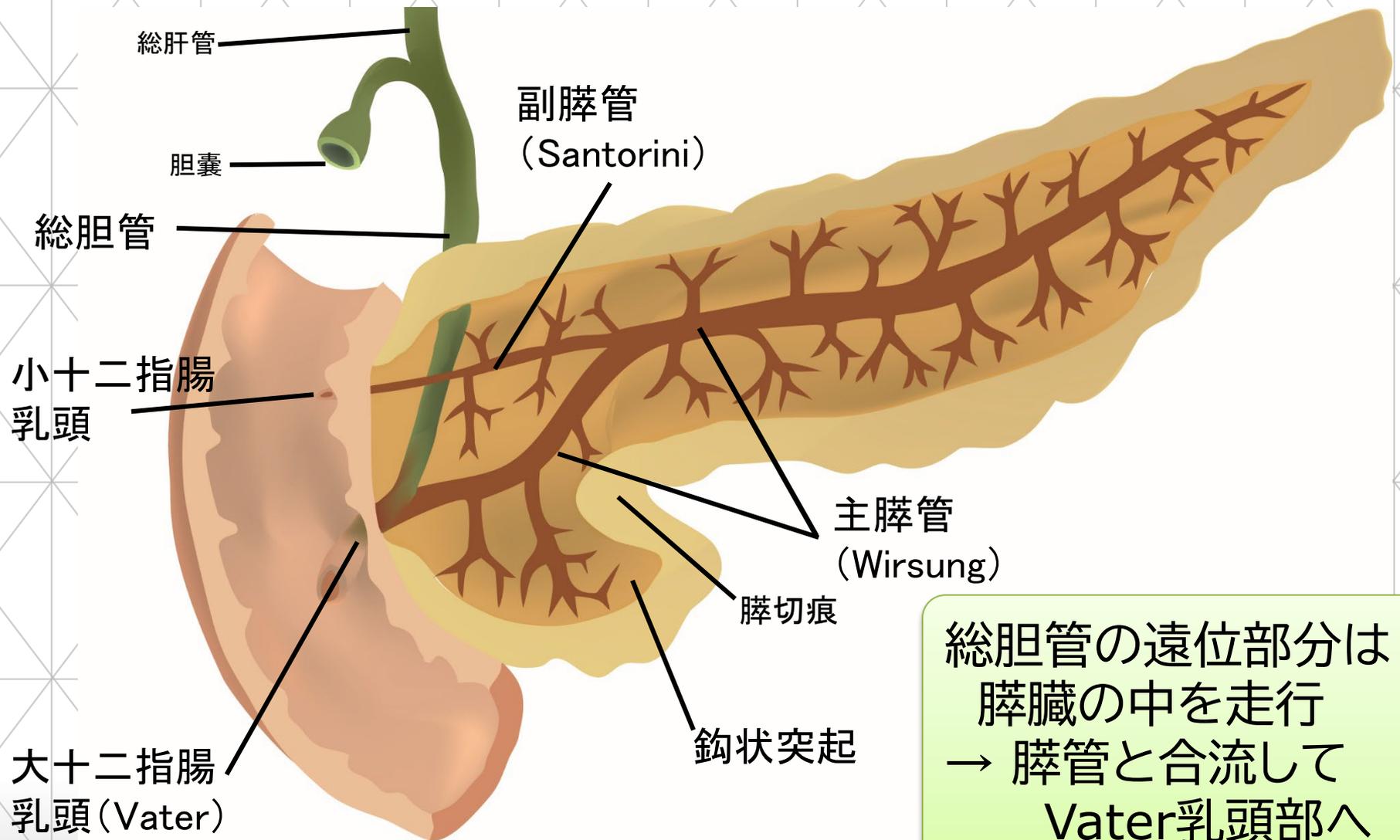


# 膵臓の組織構築

## ● 外分泌部と内分泌部(ランゲルハンス島)

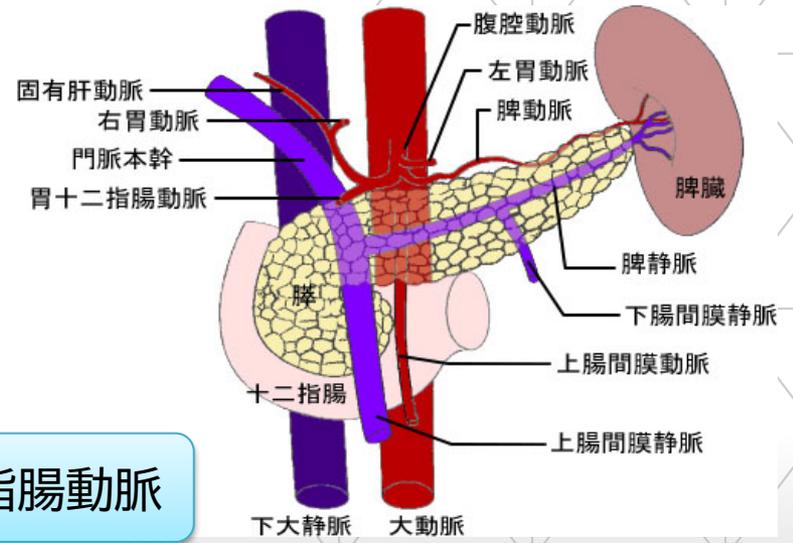
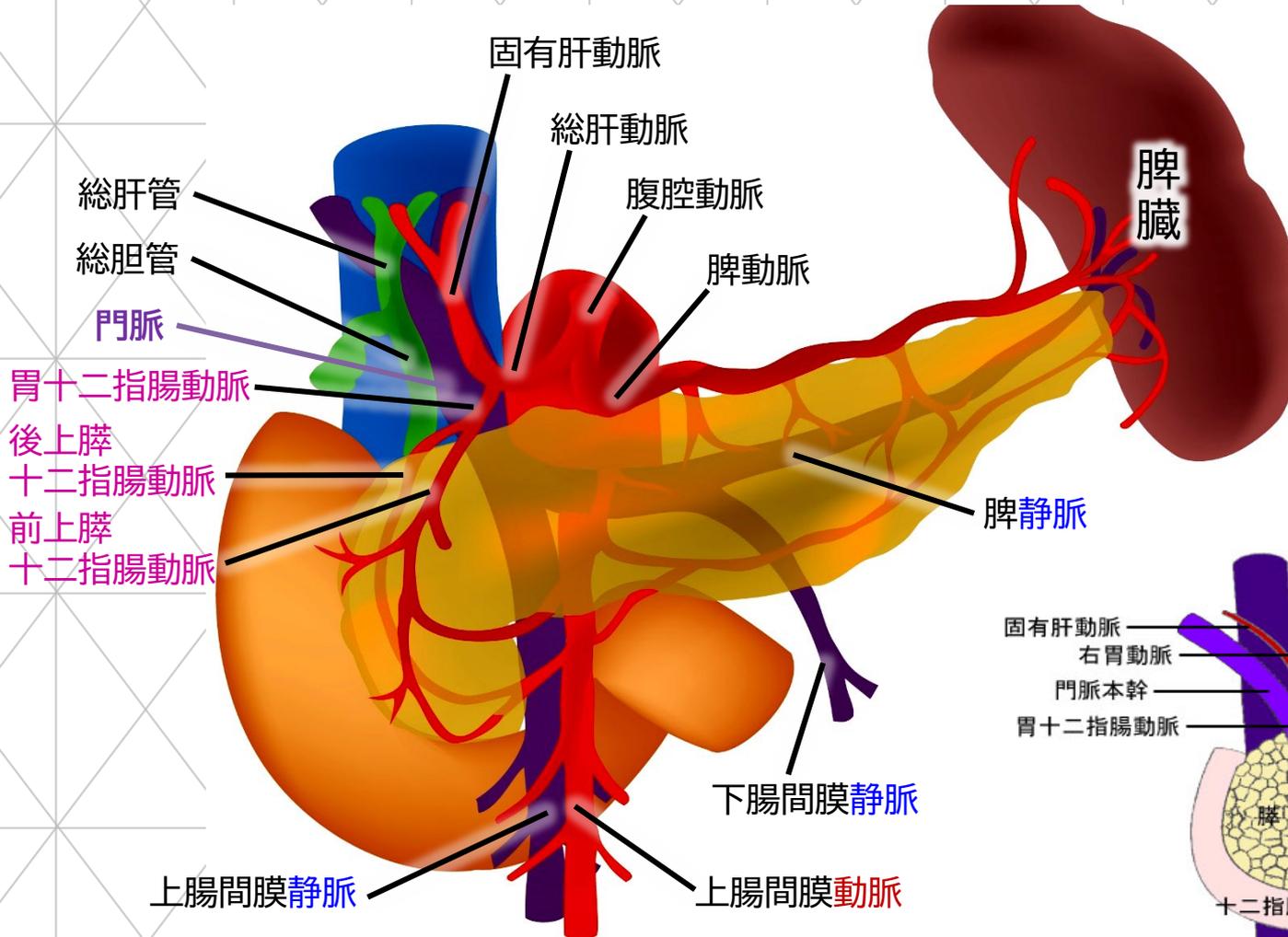


# 膵臓と胆道の関係



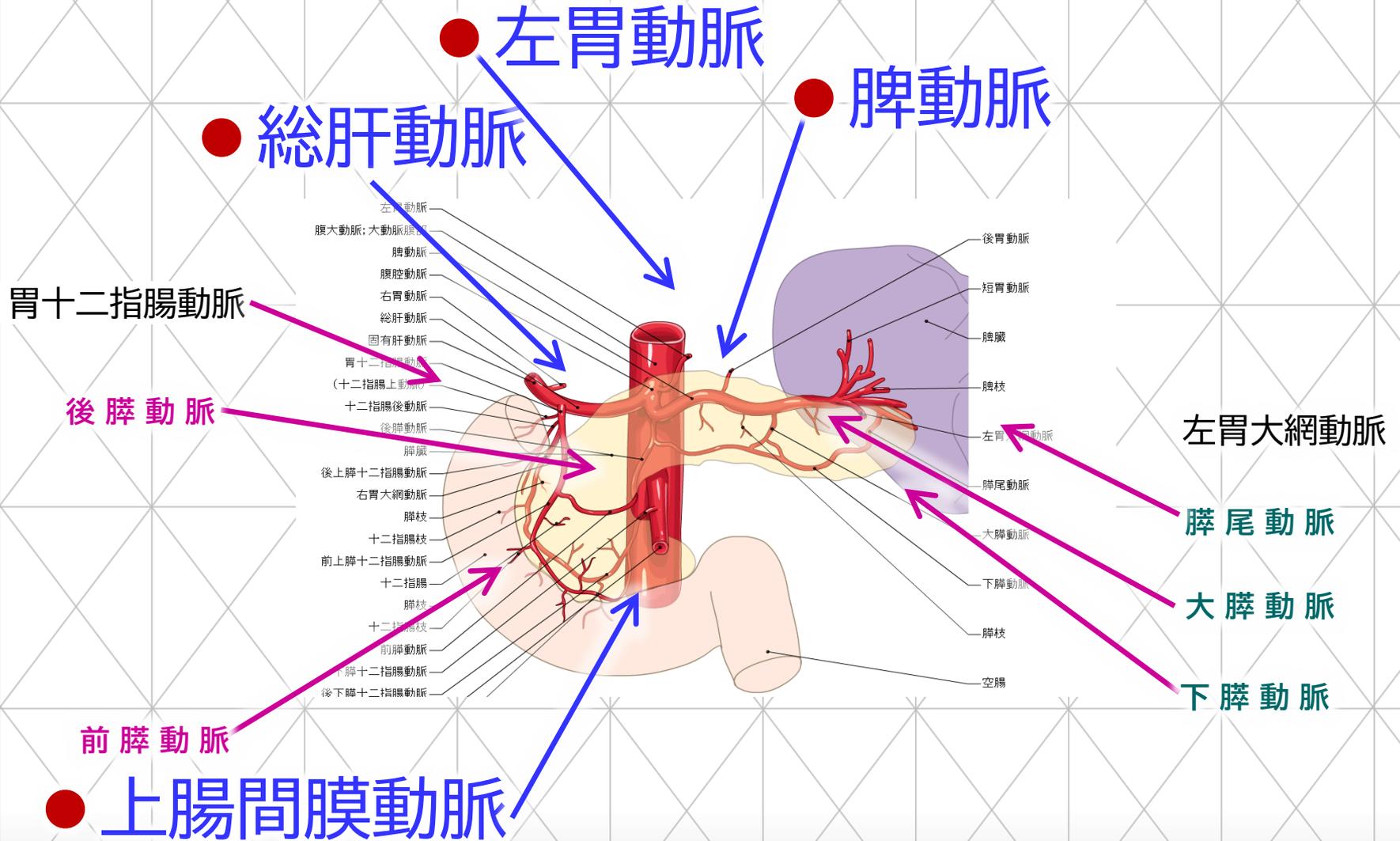
総胆管の遠位部分は膵臓の中を走行  
→ 膵管と合流して Vater乳頭部へ

# 膵臓とその周囲の血管



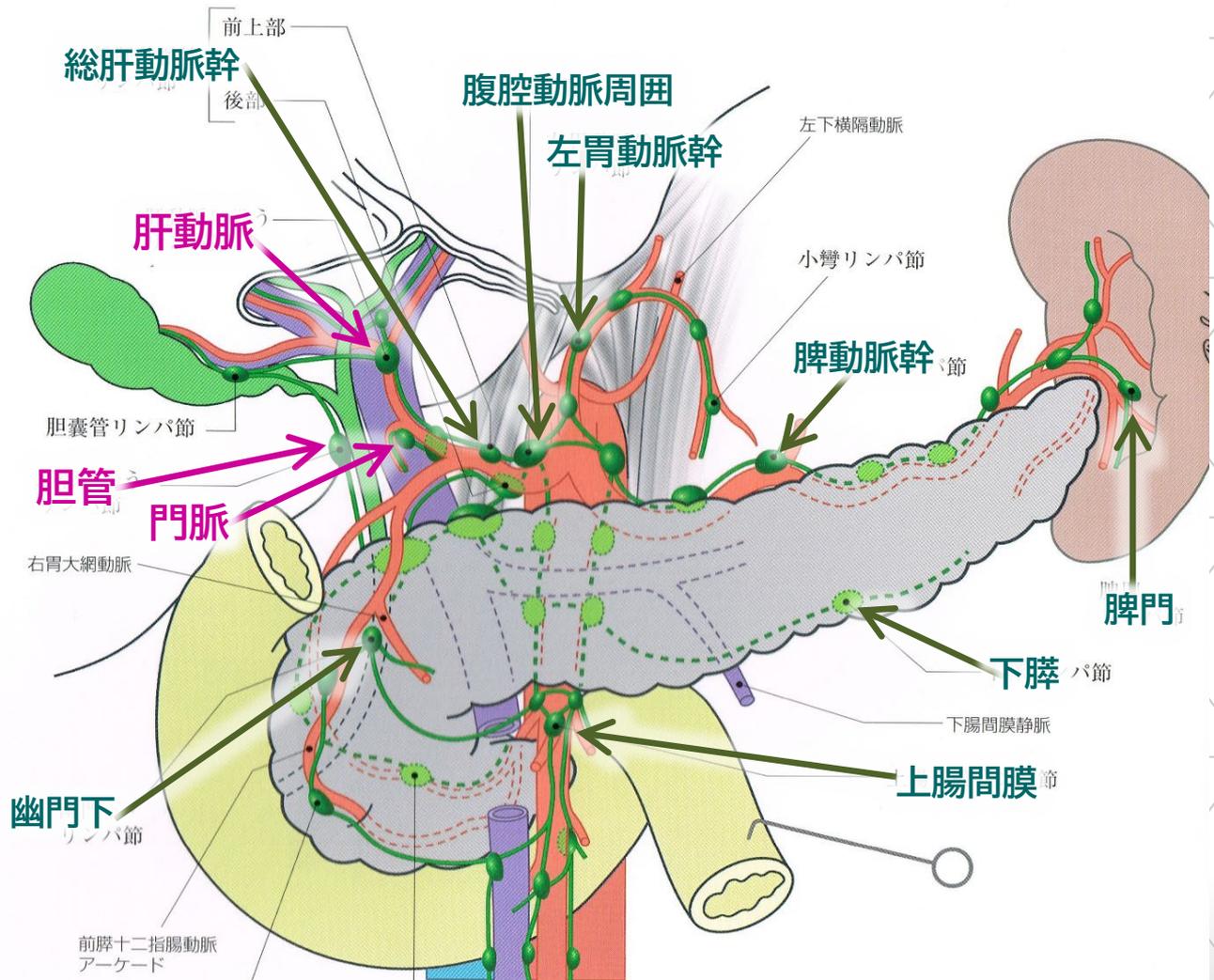
腹腔動脈→総肝動脈→胃十二指腸動脈→膵十二指腸動脈

# 腹部の動脈（脾・十二指腸周囲）



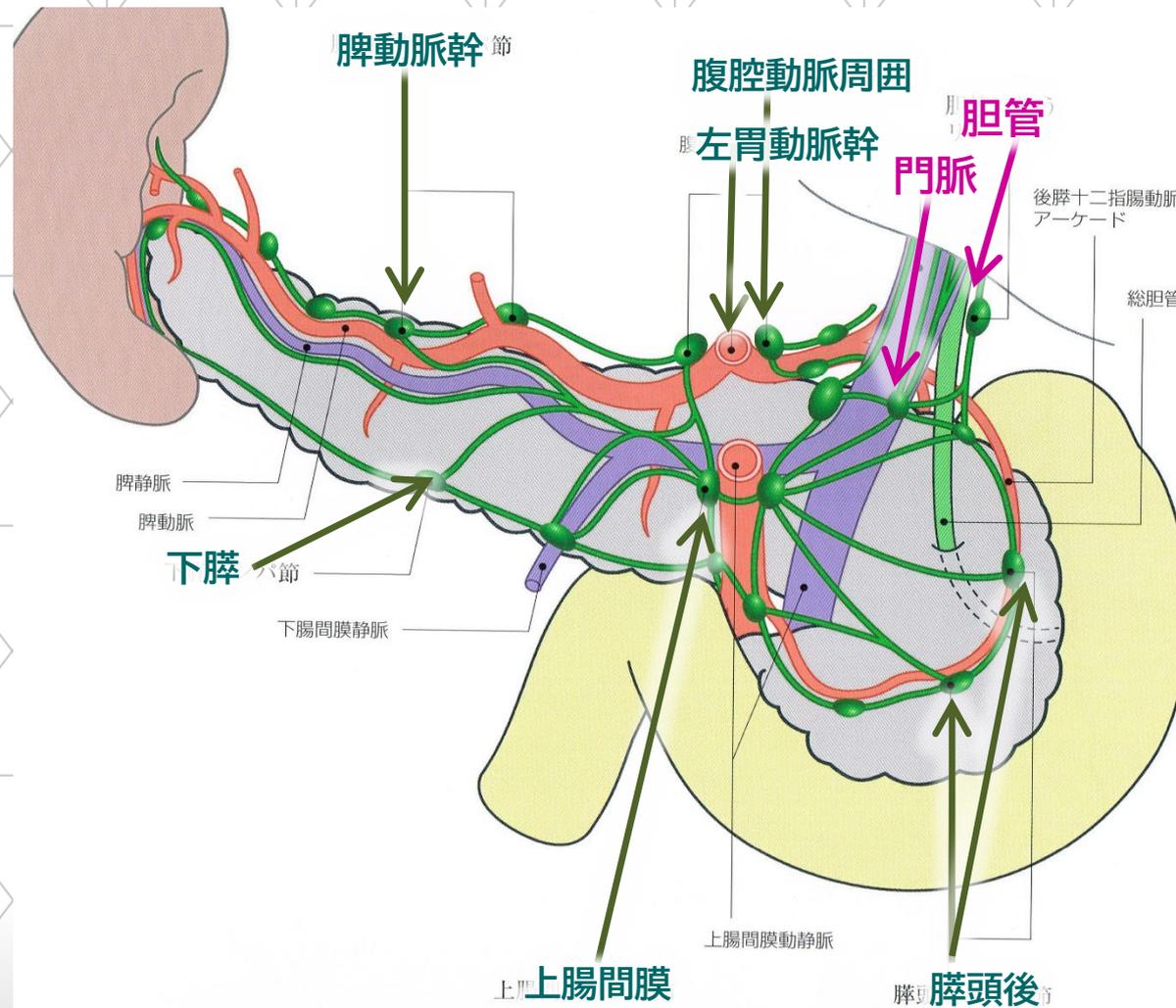
# 脾臓関連のリンパ節(前面)

## ●後腹膜腔内/肝十二指腸間膜内



# 膵臓関連のリンパ節(後面)

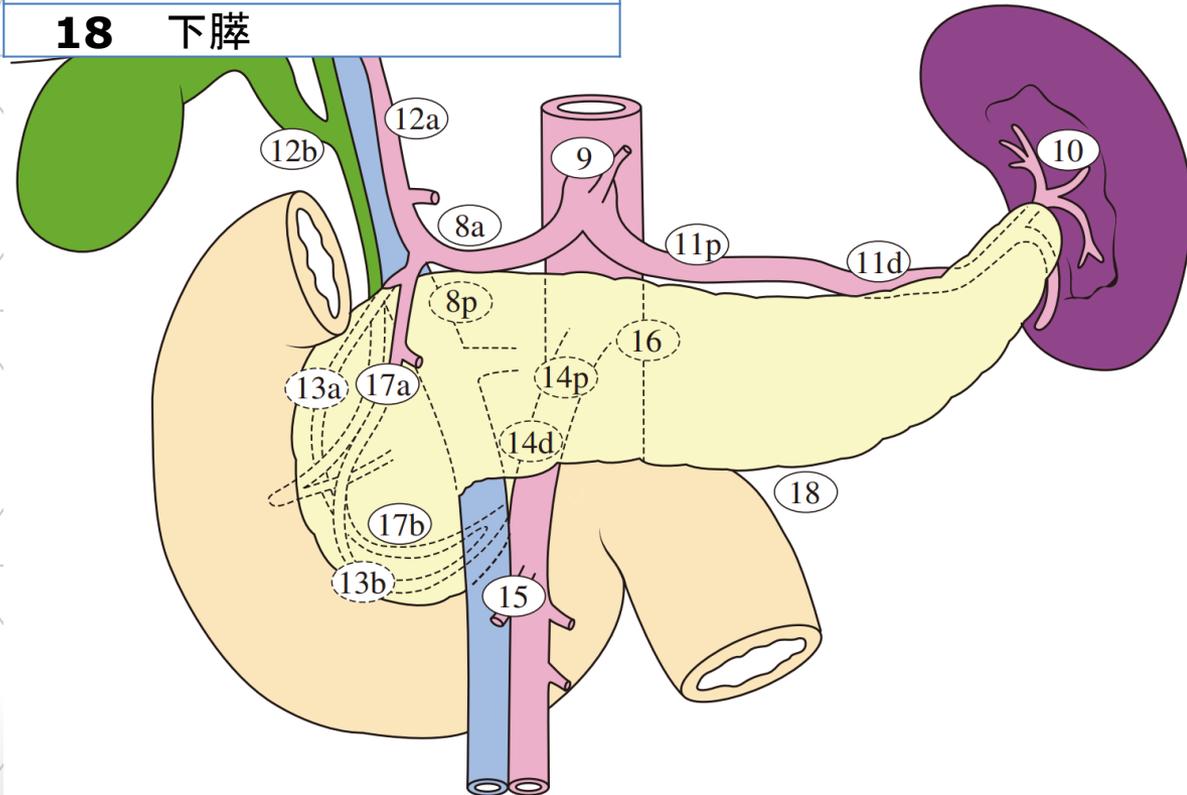
## ● 後腹膜腔内 / 肝十二指腸間膜内



# 領域リンパ節 (取扱い規約第7版) 《脾臓》

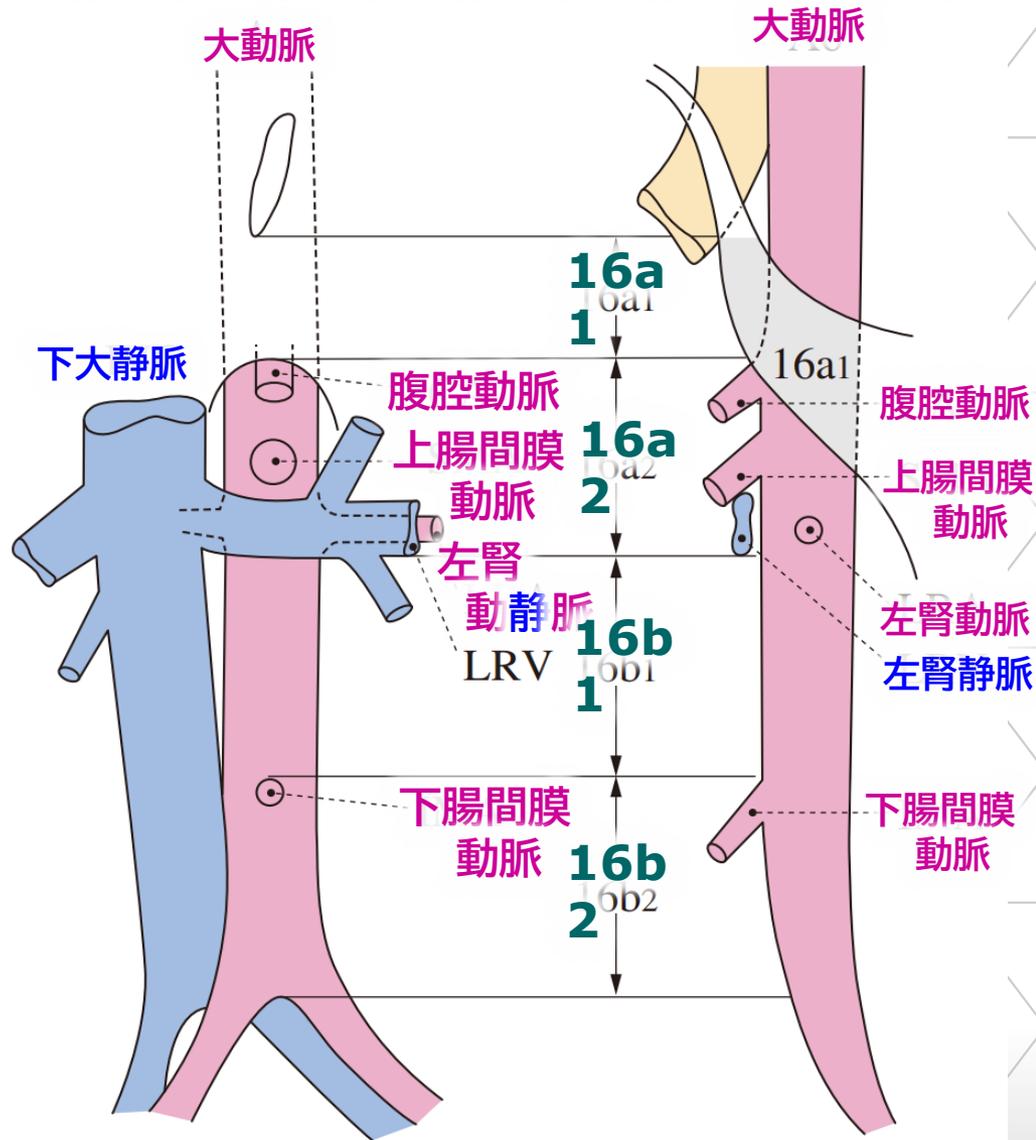
番号	リンパ節名
1	右噴門
2	左噴門
3	小彎
4	大彎
5	幽門上
6	幽門下
7	左胃動脈幹
8a	総肝動脈幹前上部
8p	総肝動脈幹後部
9	腹腔動脈周囲
10	脾門
11p	脾動脈幹近位
11d	脾動脈幹遠位
12a	肝動脈
12p	門脈
12b	胆管(胆嚢管含む)
13a	上臍頭後部
13b	下臍頭後部
14p	上腸間膜動脈近位
14d	上腸間膜動脈遠位

番号	リンパ節名
15	中結腸動脈周囲
16	大動脈周囲
17a	上臍頭前部
17b	下臍頭前部 (上腸間膜静脈含む)
18	下臍



# 大動脈周囲リンパ節

番号	リンパ節名
16a1	大動脈周囲a1
16a2	大動脈周囲a2
16b1	大動脈周囲b1
16b2	大動脈周囲b2



膵癌において、  
領域リンパ節となるのは、  
**UICC第8版では、16a2のみ**

# 膵臓癌の診断

- ◆ 自覚症状 背部痛、黄疸
  - ◆ 黄疸 膵頭部癌に多い
  - ◆ 糖尿病 膵尾部癌に多い
- ◆ アミラーゼ高値
- ◆ CTなどで部位診断を行い、他疾患と鑑別する
- ◆ ERCPを施行するかは、状況による

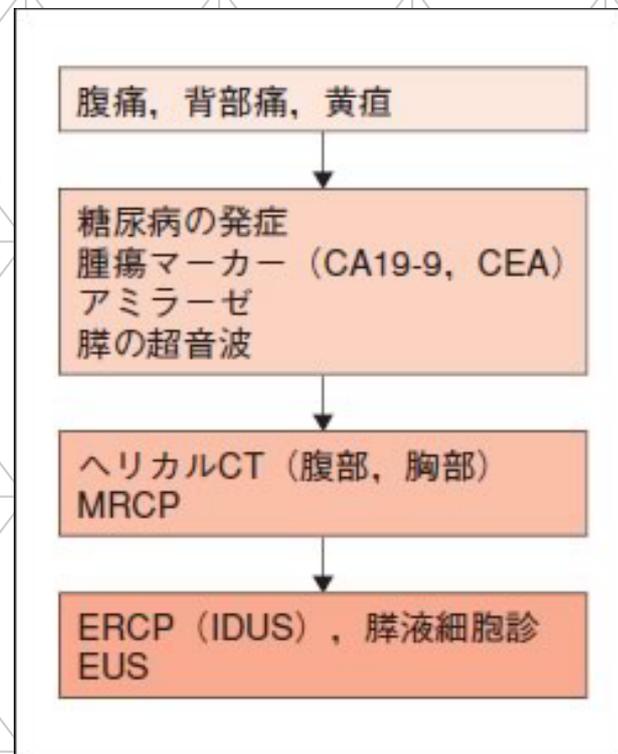
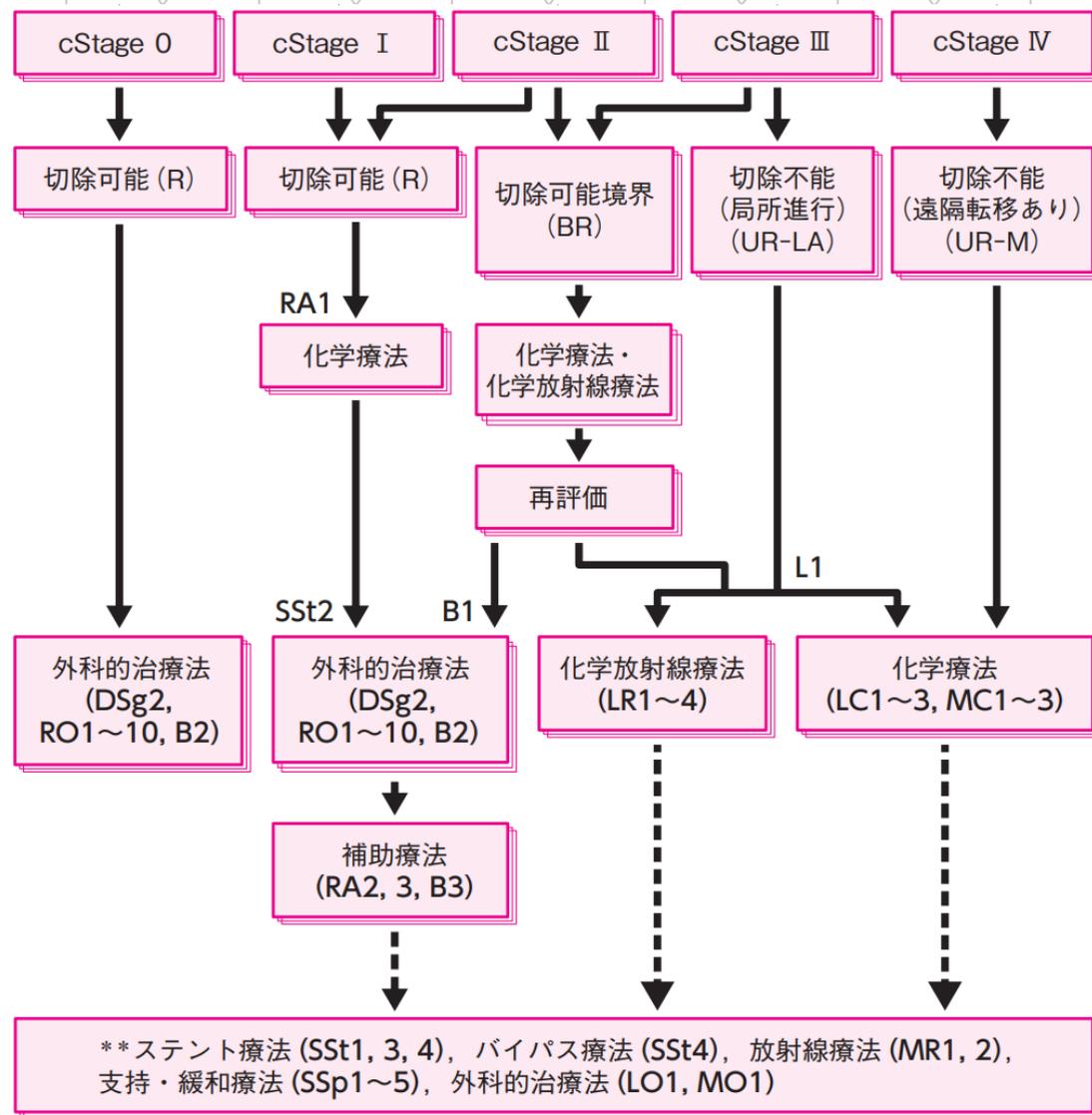


図1 膵癌の診断の進め方

# 膵癌治療のアルゴリズム

- c0 ~ I 期
  - 切除可能
- cII 期
  - 切除可能
  - 切除可能境界
- cIII 期
  - 切除可能境界
  - 切除不能
- cIV 期
  - 切除不能





# 膵がんの病期分類

## 形態コード(病理組織) 《膵臓》

病理組織名	英語表記	形態コード
外分泌腫瘍(腺癌)	Exocrine adenocarcinoma	
漿液性腫瘍	Serous neoplasms (SNs)	
漿液性嚢胞腺癌	Serous cystadenocarcinoma(SCC)	<b>8441/3</b>
粘液性嚢胞腫瘍	Mucinous cystic neoplasms(MCNs)	
粘液性嚢胞腺癌、非浸潤性	Muchinous cystadenoca.(MCC), noninvasive	<b>8470/2</b>
粘液性嚢胞腺癌、浸潤性	Muchinous cystadenoca.(MCC), invasive	<b>8470/3</b>
膵管内腫瘍		
膵管内乳頭粘液性腺癌	Intraductal pap. mucinous neopl.(IPMNs)	
膵管内オンコサイト型 乳頭状腫瘍	Intraductal oncocytic papillary ca.(IOPC)	<b>8500/2*</b>
膵管内管状乳頭腫瘍	Intraductal tubulopapillary ca. (2022年~)	<b>8503/2*</b>
膵上皮内腫瘍性病変	Pancreatic intraepithelial neoplasm (PanIN)	<b>8148/2</b>
浸潤性膵管癌	Invasive ductal carcinoma (IDC)	<b>8500/3</b>
腺癌	Adenocarcinoma	<b>8500/3</b>
高分化型~	~, well differentiated type (wel)	<b>8500/31</b>
中分化型~	~, moderately differentiated type (mod)	<b>8500/32</b>
低分化型~	~, poorly differentiated type (por)	<b>8500/33</b>
腺扁平上皮癌 IPMC*(IPMN)	Adenosquamous carcinoma (asc)	<b>8560/3</b>
粘液性癌	mucinous carcinoma (muc)	<b>8480/3</b>
泪形成癌	anaplastic carcinoma	<b>8020/3</b>

※「非浸潤」の記載がある場合のみ「/2」を、記載がないか「微小浸潤」「浸潤癌」は「/3」を用いる。  
腺扁平上皮癌(IPMC\*(IPMN))については、浸潤に関する記載がない場合は、例外的に「/2」を用いる。

## 形態コード(病理組織) 《膵臓》

病理組織名	英語表記	形態コード
外分泌腫瘍(腺癌)	Exocrine adenocarcinoma	
漿液性嚢胞腺癌	Serous cystadenocarcinoma(SCC)	8441/3*
粘液性嚢胞腺癌	Mucinous cystadenocarcinoma(MCC)	8470/3*
膵管内腫瘍		
膵管内乳頭粘液性腺癌	Intraductal papillary-mucinous ca.(IPMC)	8453/2*
膵管内オンコサイト型 乳頭状腫瘍	Intraductal oncocytic papillary ca.(IOPC)	8500/2*
膵管内管状乳頭腫瘍	Intraductal tubulopapillary ca.(ITPC)	8503/2*
膵上皮内腫瘍性病変	Pancreatic intraepithelial neoplasm(PanIN)	8148/2
浸潤性膵管癌	Invasive ductal carcinoma (IDC)	8500/3
腺癌	Adenocarcinoma	2022年~ 8500/3
高分化型~	~, well differentiated type (wel)	8500/31
中分化型~	~, moderately differentiated type (mod)	8500/32
低分化型~	~, poorly differentiated type (por)	8500/33
腺扁平上皮癌	Adenosquamous carcinoma (asc)	8560/3
粘液癌	mucinous carcinoma (muc)	8480/3
退形成癌	anaplastic carcinoma	8020/3
腺房細胞癌	acinar cell carcinoma(ACC)	8550/3

\*: 「非浸潤」の記載がある場合のみ「/2」を、記載がないか「微小浸潤」「浸潤癌」は「/3」を用いる。

IPMC\*(IPMN)については、浸潤に関する記載がない場合は、例外的に「/2」を用いる。

# 形態コード(病理組織) 《膵臓》

病理組織名	英語表記	形態コード
神経内分泌腫瘍	Neuroendocrine neoplasm	
神経内分泌腫瘍, G1	NET G1	<b>8240/3</b>
神経内分泌腫瘍, G2	NET G2	<b>8249/3</b>
神経内分泌癌	NEC G3 (large / small type)	<b>8246/3</b>
複合型腺神経内分泌癌	MANEC	<b>8244/3</b>
非機能性膵内分泌腫瘍	Pancreatic endocrine tumor, nonfunctioning	<b>8150/3</b>
機能性腫瘍	Functional tumor	
インスリノーマ	Insulinoma, malignant	<b>8151/3</b>
腸グルカゴン腫瘍	Enteroglucagonoma, malignant	<b>8152/3</b>
ガストリノーマ	Gastorinoma, malignant	<b>8153/3</b>
VIP産生腫瘍	VIPoma, malignant	<b>8155/3</b>
ソマトスタチン産生腫瘍	Somatostatinoma, malignant	<b>8156/3</b>
多発性内分泌腫瘍	Multiple endocrine neoplasm type1(MEN1)	個別にコード
外分泌・内分泌併存腫瘍	Combined neoplasm	<b>8154/3</b>
膵管内乳頭粘液腺腫	Intraductal papillary-mucinous Adenoma (IPMA)	<b>8453/0</b>
膵管内乳頭粘液性腫瘍	Intraductal papillary-mucinous Neoplasm (IPMN)	<b>8453/1</b>
粘液性のう胞腺腫	Mucinous cystic adenoma (MCA)	<b>8470/1</b>
粘液性のう胞腫瘍	Mucinous cystic tumor (MCT)	<b>8470/1</b>

# 形態コード(病理組織) 《膵》

病理組織名(日本語)	英語表記	形態コード
上皮性腫瘍	Epithelial tumours	
良性上皮性腫瘍/前癌状態	Benign epithelial tumours and precursors	
膵腺房嚢胞変化	Acinar cystic transformation of the pancreas	
膵漿液性腫瘍	Serous neoplasms of the pancreas	
漿液嚢胞腺腫、NOS	Serous cystadenoma NOS	8441/0
漿液嚢胞癌、NOS	Serous cystadenocarcinoma NOS	8441/3
膵上皮内腫瘍	Panc. intraepithelial neoplasia	
腺上皮内腫瘍、低悪性度	Glandular intraepithelial neoplasia, low grd	8148/0
腺上皮内腫瘍、高悪性度	Glandular intraepithelial neoplasia, high grd	8148/2
PanIN-3	PanIN-3	
膵導管内乳頭粘液腫瘍	Panc. intraductal papillary mucinous neopl.	
～、低悪性度異形成を伴う	～ w/ low-grade dysplasia	8453/0
～、高悪性度異形成を伴う	～ w/ high-grade dysplasia	8453/2
～、浸潤癌を伴う	～ w/ associated invasive carcinoma	8453/3
膵導管内乳頭オンコサイト腫瘍	Panc. intraductal oncocytic papillary neopl.	
導管内オンコサイト乳頭腫瘍	Intraductal oncocytic papillary neopl. NOS	8455/2
～、浸潤癌を伴う	～ w/ associated invasive carcinoma	8455/3
膵導管内管状乳頭腫瘍	Panc. intraductal tubulopapillary neopl.	
導管内管状乳頭腫瘍	Intraductal tubulopapillary neopl.	8503/2
～、浸潤癌を伴う	～ w/ associated invasive carcinoma	8503/3



## 形態コード(病理組織) 《膵》

病理組織名(日本語)	英語表記	形態コード
上皮性腫瘍	Epithelial tumours	
悪性上皮性腫瘍(つづき)	Malignant epithelial tumours	
膵芽腫	Pancreatoblastoma	<b>8971/3</b>
充実性偽乳頭性腫瘍	Solid pseudopapillary neopl. of the pancreas	<b>8452/3</b>
高悪性度～	Solid pseudopapillary neopl. w/ high-grade ca.	<b>8452/3</b>
膵神経内分泌腫瘍	Pancreatic neuroendocrine neoplasms	
非機能性膵神経内分泌腫瘍	Non-functioning panc. neuroendocrine tumours	
膵神経内分泌微小腺腫	Panc. neuroendocrine microadenoma	<b>8150/0</b>
神経内分泌腫瘍、NOS	Neuroendocrine tumour NOS	<b>8240/3</b>
膵神経内分泌腫瘍	Panc. neuroendocrine tumour, non-functioning	<b>8150/3</b>
機能性膵神経内分泌腫瘍		
インスリノーマ	Insulinoma	<b>8151/3</b>
ガストリノーマ	Gastrinoma	<b>8153/3</b>
VIPオーマ	VIPoma	<b>8155/3</b>
グルカゴノーマ	Glucagonoma	<b>8152/3</b>
ソマトスタチノーマ	Somatostatinoma	<b>8156/3</b>
ACTH産生神経内分泌腫瘍	ACTH-producing neuroendocrine tumour	<b>8158/3</b>
セロトニン産生～	Serotonin-producing neuroendocrine tumour	<b>8141/3</b>
膵神経内分泌癌	Pancreatic neuroendocrine carcinoma	<b>8246/3</b>
大細胞神経内分泌癌	Large cell neuroendocrine carcinoma	<b>8013/3</b>
小細胞神経内分泌癌	Small cell neuroendocrine carcinoma	<b>8041/3</b>
膵混合性神経内分泌 ・非神経内分泌腫瘍	Pancreatic MiNENS	<b>8154/3</b>

# 膵臓がんの進行(膵管癌)

- 非浸潤性膵管癌

- PanIN-1 → PanIN-2 → PanIN-3 (**8148/2**)

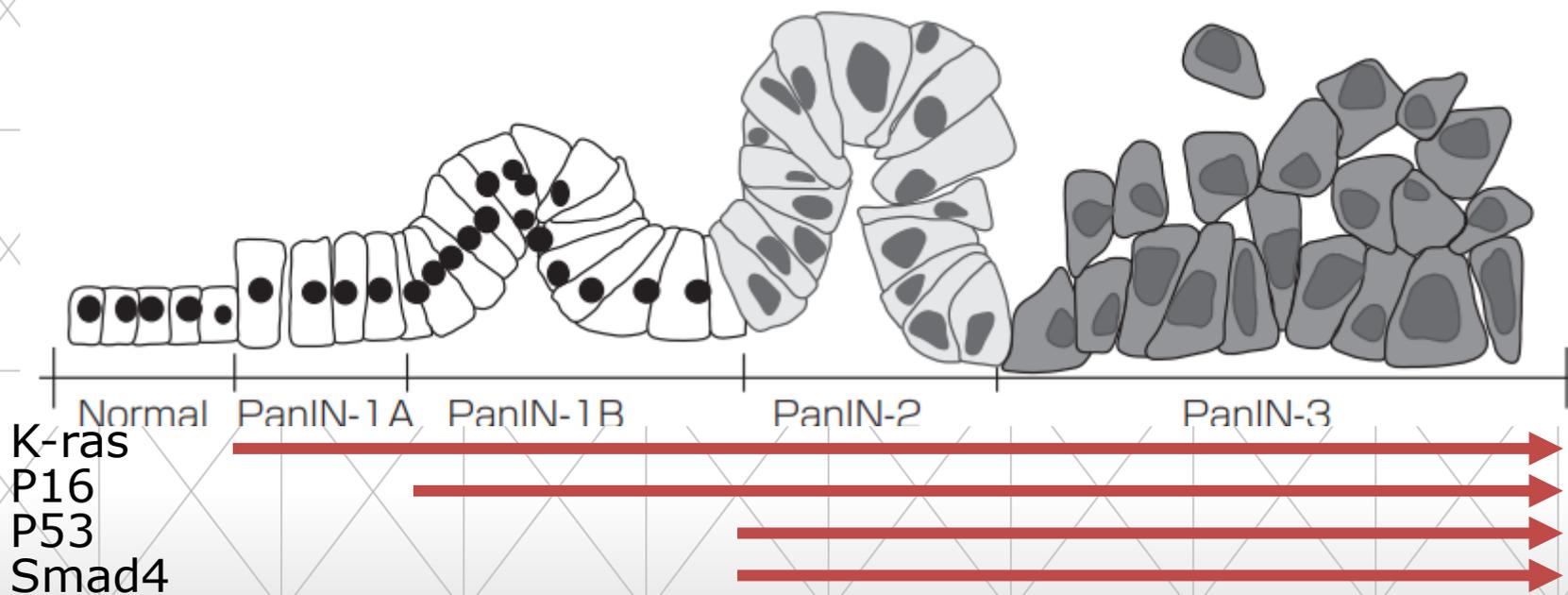
- 浸潤性膵管癌

- 管状腺癌 (**8211/3** → **8140/3**)

2018年~

2022年~

→ 腺癌 (**8140/3** → **8500/3**)



# 膵嚢胞

## ● 非腫瘍性

- 先天性真性膵嚢胞
- 炎症後嚢胞、膵液瘻後嚢胞

## ● 腫瘍性

- 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)
- 粘液性嚢胞腫瘍(MCN)
- 漿液性嚢胞腫瘍(SCN)
- 膵神経内分泌腫瘍(NEN)
- 充実性偽乳頭状腫瘍(SPAN)

### もう一つの嚢胞分類

- 偽嚢胞(嚢胞壁が上皮ではない)  
「仮性嚢胞」といわれていた
- 真性嚢胞(嚢胞壁が上皮)

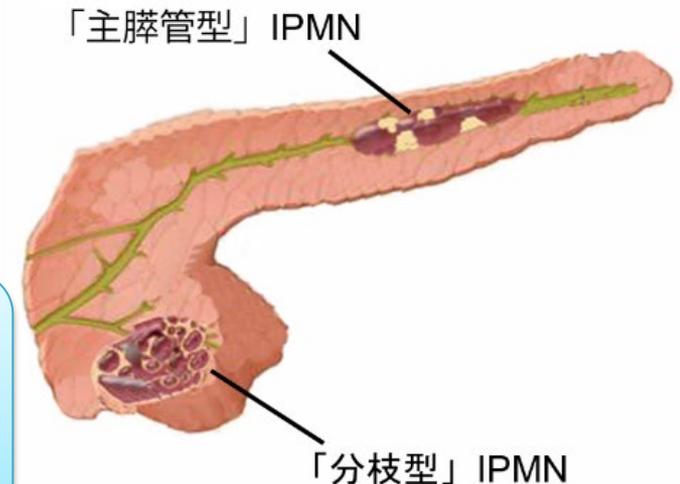
# 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)

- 粘液を入れた膵管拡張を伴う腫瘍  
主膵管型、分枝型、混合型に分かれる

組織型としては、腺癌  
臨床的特徴から  
浸潤性膵管癌とは、別に扱われている

- 膵管内乳頭粘液性腺腫 (IPMA)
- 膵管内乳頭粘液腺癌、非浸潤性 (IPMC, noninvasive)
- 膵管内乳頭粘液腺癌、浸潤性 (IPMC, invasive)

主膵管型 悪性の可能性高い  
(膵管径が 1cmこえる場合は悪性を疑う)  
分枝型 良性のことが多い  
(嚢胞内腫瘍形成、3cm径以上で悪性を疑う)



# 《膵臓》のUICC第8版

- 適用対象の変更
  - カルチノイドは、《高分化神経内分泌腫瘍》で分類
- T分類では、
  - 膵臓に限局するか否やでなく、最大径で評価
  - 総肝動脈を含めた血管浸潤での評価
- N分類は、
  - 領域リンパ節が変更
  - 転移リンパ節の個数により、**N1**と**N2**に分類
- M分類は、変更なし
- ステージは、**T・N**分類の変更に合わせて修正

T分類が大きく変更

# T分類(UICC第8版) 《膵臓》

**Tis** 上皮内癌 (PanINⅢを含む)

**T1** 最大径が2cm以下の腫瘍

**T1a** 最大径が0.5cm以下の腫瘍

**T1b**  $0.5\text{cm} < \text{最大径} \leq 1\text{cm}$  の腫瘍

**T1c**  $1\text{cm} < \text{最大径} \leq 2\text{cm}$  の腫瘍

**T2** 最大径が2cmをこえ、4cm以下の腫瘍

**T3** 最大径が4cmをこえる腫瘍

**T4** 腹腔動脈幹 または上腸間膜動脈、あるいは総肝動脈に浸潤する腫瘍

腫瘍径10mm以下  
5年生存率 80%  
腫瘍径20mm以下  
5年生存率 50%  
腫瘍径20mm超  
5年生存率 20%以下

# N分類(UICC第8版) 《膵臓》

- NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能
- N0** 領域リンパ節転移なし
- N1** 1～3個の領域リンパ節転移あり
- N2** 4個以上の領域リンパ節転移あり

- 膵臓の領域リンパ節

- 膵頭部

総胆管周囲、総肝動脈、門脈周囲、幽門、幽門上、幽門下、近位腸間膜、腹腔動脈周囲、前/後膵頭十二指腸動脈周囲、上腸間膜静脈周囲、上腸間膜動脈右縁のリンパ節

- 膵体部/膵尾部

総肝動脈、腹腔動脈周囲、脾動脈周囲、脾門、後腹膜、大動脈外側のリンパ節

# 領域リンパ節対応表

# 《脾臓》

番号	リンパ節名	脾頭部		脾体部・尾部	
		規約 第7版	UICC 第8版	規約 第7版	UICC 第8版
1	右噴門				
2	左噴門				
3	小彎				
4	大彎				
5	幽門上	領域	領域	領域	
6	幽門下	領域	領域	領域	
7	左胃動脈幹	領域		領域	
8a	総肝動脈幹前上部	領域	領域	領域	領域
8p	総肝動脈幹後部	領域	領域	領域	領域
9	腹腔動脈周囲	領域	領域	領域	領域
10	脾門	領域		領域	領域
11p	脾動脈幹近位	領域		領域	領域
11d	脾動脈幹遠位	領域		領域	領域
12a	肝動脈	領域	領域	領域	
12p	門脈	領域	領域	領域	
12b	胆管(胆嚢管含む)	領域	領域	領域	

番号	リンパ節名	脾頭部		脾体部・尾部	
		規約 第7版	UICC 第8版	規約 第7版	UICC 第8版
13a	上脾頭後部	領域	領域	領域	
13b	下脾頭後部	領域	領域	領域	
14p	上腸間膜動脈近位	領域	領域	領域	
14d	上腸間膜動脈遠位	領域	領域	領域	
15	中結腸動脈周囲				
16a1	大動脈周囲a1				
16a2	大動脈周囲a2				領域
16b1	大動脈周囲b1				
16b2	大動脈周囲b2				
17a	上脾頭前部	領域	領域	領域	
17b	下脾頭前部 (上腸間膜静脈含む)	領域	領域	領域	
18	下脾	領域		領域	領域

# M分類(UICC第8版) 《膀胱》

---

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

※取扱い規約では、

腹膜播種転移を「**P**」、肝転移は「**H**」で表す。

「**P1**」「**H1**」は、**UICC**の「**M1**」に分類する。

# ステージ(UICC第8版) 《膀胱》

		N0	N1	N2
Tis		0		
T1	T1a	I A	II B	III
	T1b			
	T1c			
T2	I B	II B	III	
T3	II A	II B	III	
T4	III	III	III	
M1	IV	IV	IV	

# 進展度(UICC第8版) 《臍臓》

		N0	N1	N2
<b>Tis</b>		上皮内		
<b>T1</b>	<b>T1a</b>	局限	領域 リンパ節転移	領域 リンパ節転移
	<b>T1b</b>			
	<b>T1c</b>			
<b>T2</b>		局限	領域 リンパ節転移	領域 リンパ節転移
<b>T3</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>T4</b>		隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤	隣接臓器浸潤
<b>M1</b>		遠隔転移	遠隔転移	遠隔転移

# T分類(取扱い規約第7版増補版) 《膵臓》

**TX** 膵局所進展度が評価できないもの

**T0** 原発腫瘍を認めない

**Tis** 非浸潤癌 (high-grade PanINを含む)

**T1** 膵臓に限局し、最大径が20mm以下の腫瘍

**T1a** 最大径が5mm以下の腫瘍

**T1b** 5mm < 最大径 ≤ 10mm の腫瘍

**T1c** 10mm < 最大径 ≤ 20mm の腫瘍

**T2** 膵臓に限局し、最大径が20mmをこえる腫瘍

**T3** 膵臓を超えて浸潤するが、  
腹腔動脈 または上腸間膜動脈には浸潤しない腫瘍

**T4** 腹腔動脈 または上腸間膜動脈に浸潤する腫瘍

# N分類(取扱い規約第7版増補版) 《脾臓》

**NX** 領域リンパ節転移の評価が不可能

**N0** 領域リンパ節転移なし

**N1** 領域リンパ節転移あり

**N1a** 1～3個の領域リンパ節転移あり

**N1b** 4個以上の領域リンパ節転移あり

## ●脾臓の領域リンパ節(部位に関係なし)

- #5 幽門上、#6 幽門下、#7 左胃動脈幹、#8a 総肝動脈前上部、#8p 総肝動脈後部、#9 腹腔動脈周囲、#10 脾門、#11p 脾動脈幹近位、#11d 脾動脈幹遠位、#12a 肝動脈、#12p 門脈、#12b 胆管、#13a 上脾頭後部、#13b 下脾頭後部、#14p 上腸間膜動脈近位、#14d 上腸間膜動脈遠位、#17a 上脾頭前部、#17b 下脾頭前部、#18 下脾

# 領域リンパ節対応表

## 《脾臓》

番号	リンパ節名	脾頭部		脾体部・尾部	
		規約 第7版	UICC 第8版	規約 第7版	UICC 第8版
1	右噴門				
2	左噴門				
3	小彎				
4	大彎				
5	幽門上	領域	領域	領域	
6	幽門下	領域	領域	領域	
7	左胃動脈幹	領域		領域	
8a	総肝動脈幹前上部	領域	領域	領域	領域
8p	総肝動脈幹後部	領域	領域	領域	領域
9	腹腔動脈周囲	領域	領域	領域	領域
10	脾門	領域		領域	領域
11p	脾動脈幹近位	領域		領域	領域
11d	脾動脈幹遠位	領域		領域	領域
12a	肝動脈	領域	領域	領域	
12p	門脈	領域	領域	領域	
12b	胆管(胆嚢管含む)	領域	領域	領域	

番号	リンパ節名	脾頭部		脾体部・尾部	
		規約 第7版	UICC 第8版	規約 第7版	UICC 第8版
13a	上脾頭後部	領域	領域	領域	
13b	下脾頭後部	領域	領域	領域	
14p	上腸間膜動脈近位	領域	領域	領域	
14d	上腸間膜動脈遠位	領域	領域	領域	
15	中結腸動脈周囲				
16a1	大動脈周囲a1				
16a2	大動脈周囲a2				領域
16b1	大動脈周囲b1				
16b2	大動脈周囲b2				
17a	上脾頭前部	領域	領域	領域	
17b	下脾頭前部 (上腸間膜静脈含む)	領域	領域	領域	
18	下脾	領域		領域	領域

# M分類(取扱い規約第7版増補版) 《睪臓》

**M0** 遠隔転移なし

**M1** 遠隔転移あり

※ 取扱い規約では、  
腹膜播種転移を「**P**」、肝転移は「**H**」で表す。  
「**P1**」「**H1**」は、**UICC**の「**M1**」に分類する。

# ステージ (取扱い規約第7版増補版) 《睥臆》

		N0	N1	
			N1a	N1b
T0		0*	ⅡB*	ⅡB*
Tis		0	ⅡB*	ⅡB*
T1	T1a	ⅠA	ⅡB	ⅡB
	T1b			
	T1c			
T2		ⅠB	ⅡB	ⅡB
T3		ⅡA	ⅡB	ⅡB
T4		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
M1		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ